京城日報
朝刊
本日朝夕刊共六頁

ジャワ作戰に拔群の武動

感狀 畏くも上聞に達す

光榮に輝やく 坂口兵團、東海林部隊

【東京電話】ジャワにおける敵の無條件降服に重大な素因を作つた殊勲の坂口兵團および東海林部隊に對してさきに今村蘭印方面最高指揮官より夫々感狀を授與されたが、畏くも上聞に達した旨十一日陸軍省から發表された【寫眞は(上)坂口部隊長(下)東海林部隊長】

陸軍省發表(十二月十一日十六時) 瓜哇方面の攻略作戰に武功拔群なりし坂口兵團、同配屬部隊ならびに東海林部隊、同配屬部隊、同區處部隊に對し曩に同方面陸軍最高指揮官よりそれぞれ感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

坂口兵團同配屬部隊

右は軍の先驅となり比島および蘭領ボルネオに轉戰し敵前上陸を敢行すること五回、善戰常に機を失せず頑敵を破り、要衝を拔き、東印度諸島全般の攻略作戰を有利ならしめたり、瓜哇に對する軍主力の作戰に當りては兵團はクラガン附近に上陸したるのち神速果敢に中部瓜哇の各地を突破し上陸後週日にして挺身チラチャップを占領し瓜哇における敵全軍の退路を遮斷して是に致命的衝動を與へ、敵軍の無條件降服に重大なる素因を作りたり、その武功は眞に拔群なり、茲に感狀を附與して之を全軍に布告す

昭和十七年三月二十日

蘭印方面陸軍最高指揮官 今村均

感狀

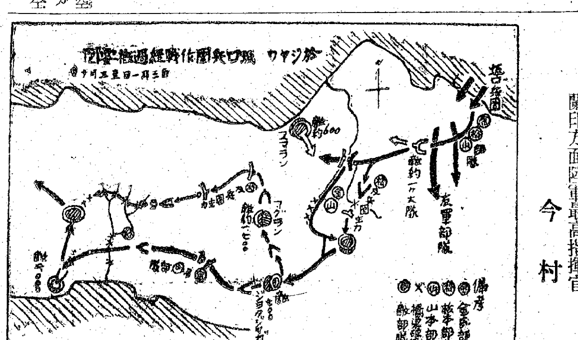
東海林部隊同配屬部隊
同區處部隊

右は昭和十七年三月一日エレタン附近に敵前上陸し數次にわたり空陸よりする敵の執拗なる攻撃を排撃し長驅して同日正午すでにカリヂャチ飛行場一帶を占領しもつてわが制空權の獲得を可能ならしむると共にバタビヤ、バンドン間の連絡を遮斷し、ついで五日午後遠藤飛行部隊と協同のもとにバンドン要塞の一角を突破し、もつて敵の全面的降服に重大なる素因を與へたり

右の行動は作戰戰略最も機宜に適せるものにしてその武功は拔群なり、茲に感狀を附與して全軍に布告す

昭和十七年三月二十一日

蘭印方面陸軍最高指揮官 今村均



無條件降伏の素因
敵の對濠連絡路遮斷

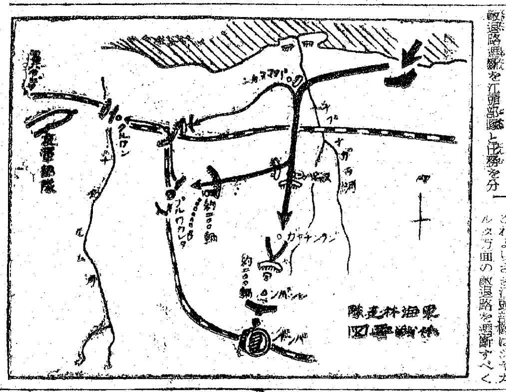
坂口兵團戰闘經過

ミンダナオならびに南部ボルネオに上陸、これを攻略した坂口兵團は二月三日バンジェルマシンを出發、友軍部隊の艦艇とゝもに二月廿八日から敵機の執拗な攻撃を排除し三月一日未明泊地に進入、金氏部隊は七時クラガン東南側に上陸直ちに自動車によりブロラに向ひ山本、松本兩部隊は二日午前二時卅分上陸しブロラに向つた

金氏部隊は一日の午前二時ブロラに集結完了、主力は二日夜同地に集結した、松本部隊は四日午前零時三十分ブロラを出發、ブルオダデイラを經て、五日未明スラカルタ北側陣地に突入、早朝これを占領した、これよりさき金氏部隊は二日午後三時ブロラ出發、スマラン市に約〇〇名の敵ありとの情報によりゴドンに進出、この敵に對し陽動を實施した、これに引續きスマランの敵は出動して來たのであつた、兵舍は市民によつて燒かれてしまつた、金氏部隊は四日ゴドンを出發ボヨラリに向つたが敵は諸橋梁を破壞し道路には木を倒してわが進撃を阻み、またあらゆる物資は隱蔽してしまつた、部隊はボヨラリ附近において敵を撃滅、五日夕刻ジョクジャカルタに進出、同地にあつた約七百の敵は降伏を申出た、山本部隊はジャカルタを經てマゲランに向ひ六日夕同地南側で裝甲車、迫撃砲を有する敵を攻撃これを降伏せしめた、當時アンバラワ、スマラン、サラテイガなどには敵があるたがマゲランで降伏した敵の中佐をしてこれらの敵に降伏した旨傳達させ、七日には遂にこの敵の武裝を解除した

山本部隊は金氏部隊を合せ指揮し六日朝六時ジョクジャカルタを出發、海岸道をチラチヤツプに向つた、金氏部隊は同日午後零時半頃ブルワルジョ、同四時廿分にはクブメンで敵を撃破同日夕方早くもマオス附近に進出した、しかるにツラユ河は橋梁が悉く破壞されてゐたので七日夕刻まで渡河準備を行ひ、同夜八時渡河を開始、金氏部隊は八日午後零時四十分チラチヤツプに突入、次で山本部隊は同三時に同地に到着した、同地二千の敵はワンゴン方面に退却、坂口兵團はこゝに上陸以來八日にして中部ジャワを東西に縱斷し敵全軍の對濠連絡路を遮斷して致命的打撃を與へ全面的無條件降伏の素因をつくつたのであつた

敵の意表を衝く
カリヂャチ飛行場占領



東海林部隊戰闘經過

東海林部隊はジャワ攻略の任務を帯びる今村兵團の一翼としてジャワ島エレタン海岸に向ひ、三月一日未明猛烈な敵機の銃爆撃を冒して敵前上陸を敢行、敵の抵抗を排除して爾余部隊の集結を行ひカリヂャチ飛行場の攻略を大隊、同飛行場占領を若松部隊、クラワン、ジャカルタ方面の敵退路遮斷を江頭部隊と任務を分擔して急遽エレタンを出發した

大隊の若松部隊は三月一日午前六時機動先遣カリヂャチ飛行場に向ひスーバン西方約一キロの地點で有力な敵部隊と遭遇し進路を阻まれたが午前十時四十五分若松部隊の來援を得て執拗な敵を撃破正午長驅カリヂャチ飛行場に突入しこれを占領した、神速果敢な我部隊の行動は敵の意表に出でわが占領を知らずして着陸した敵機すらあつたほどで、同方面制空權の獲得は爾後の作戰に寄與するところ大であつた、これよりさき江頭部隊はジャカルタ方面の敵退路を遮斷すべく午前五時四十分エレタンを出發ジヤカルタ街道を西進し同夜パマヌカンに進出した、また逐次集結中の東海林部隊主力は二日午前五時スーバンに到着、戰車二十輛を有する敵機甲部隊の來襲を邀撃して奮戰一時間にしてこれを撃退した、この戰闘では敵戰車がスーバン市街に突入、わが部隊本部直前まで侵入し來つたほどの亂戰であつた

三月三日正午カリヂャチ西方十數キロの地點プロワカルタ方面の敵機甲部隊南進中との報告に接して部隊はこれを殲滅すべく前進を開始したがこれよりさきパレンバンよりカリヂャチに基地を推進してゐた遠藤飛行部隊は機を逸せず、この敵を捕捉して殲滅的打撃を與へ、東海林部隊の進撃を容易ならしめ、部隊は須臾にして同方面の各要衝を占據した

敵と屡次の遭遇戰を交へつゝ若松部隊は四日朝ブルワカルタ占領、江頭部隊は同午後二時チカムペク占領後勇躍六時三十分にはタラツンを確保急追チタルム河畔タドンゲテに到達したが命をうけスーバンに後退した、一方ジヤカルタに蟠居する敵主力は四日バンドンに退却を開始、又バンドン方面の敵は逐次兵力を増強しつゝありとの通報に接した、東海林部隊長は味方飛行隊の掩護の下にバンドンを攻撃、今村兵團主力の作戰に協力すべく決意した、すなはち寡兵をも顧みず急遽前進して五日午前十一時チャランチャガ附近に進出、さらに午後二時先鋒の若松部隊はチャランチャガ南方約四キロの地點に達した、こゝにおいて前方に蠢動する敵有力部隊を發見、強行威力搜索を決意して戰車を先頭に敵陣に突入した、午後四時チャテルチカ、右方よりする敵砲兵の熾烈な火網を浴びながらも部隊は味方砲兵の掩護を待たず敵陣に突入、同五時三十分敵の第一線陣地に成功した

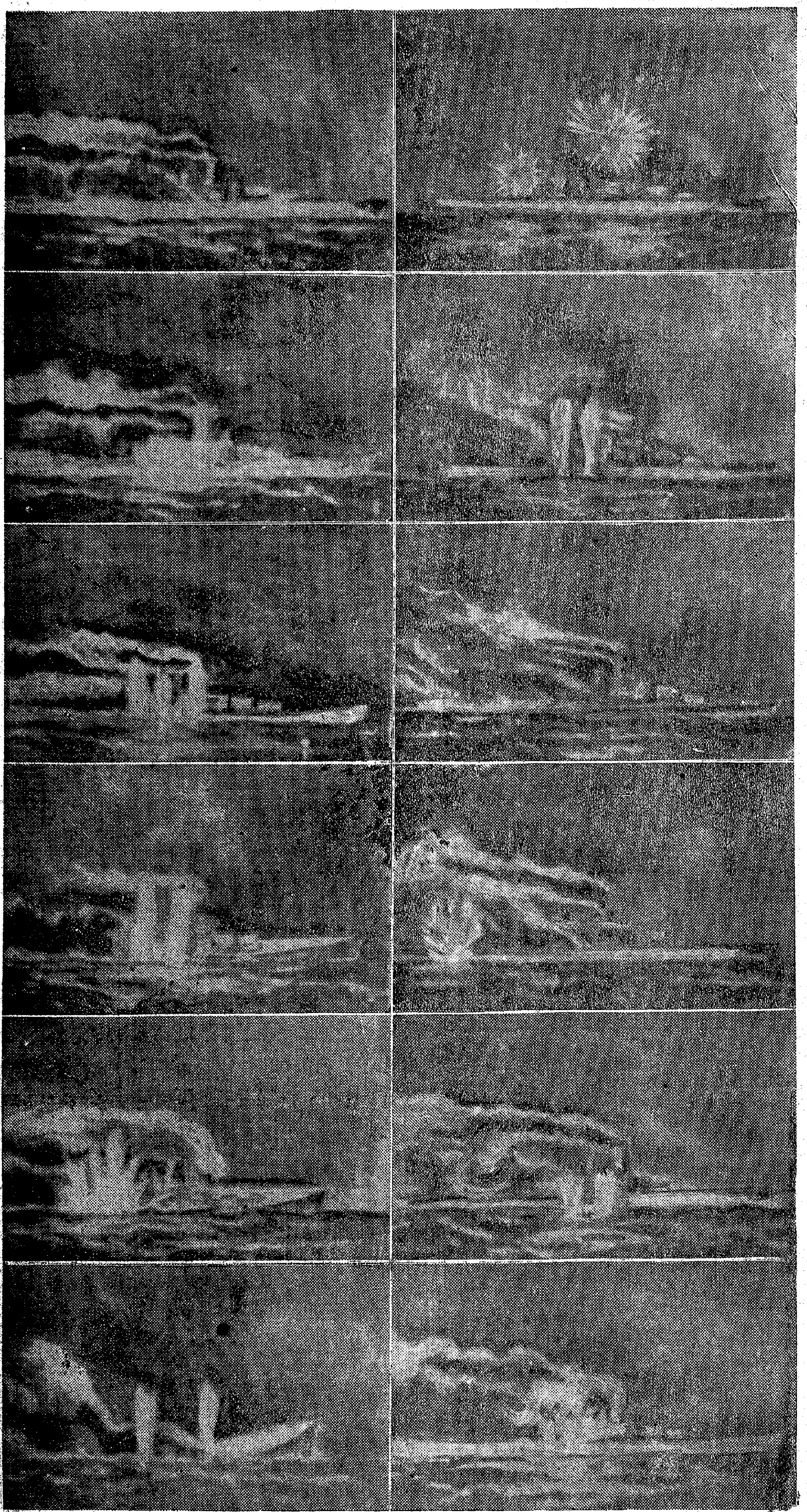
夜に入るや工兵隊をして敵前に架橋せしめて渡河を決行、翌六日挺騰部隊一部をもつて本道上に、主力を本道西側に布陣、砲兵隊を本道上に展開して攻撃を開始した、敵は頑強に抵抗して味方の損害少からず、江頭部隊副官は負傷、若松部隊副官は壮烈な戰死を遂げるなど戰闘は熾烈を極めたが戰爆連合の遠藤飛行部隊が來援して敵陣地を反覆爆撃敵補給路を遮斷したゝめさしも強力な敵も次第に勢ひを失ふに至り、六日夜敵最後の據點に壮烈な夜襲戰を開始これを覆滅した

經濟部長會議 十四、五兩日開催

【東京電話】内務省では來る十四、五兩日全國經濟部長會議を開催するが、今回の會議は主として昭和十七年産米買入れ割當および十八米穀年度の配給割當に關する事項ならびに主要食糧農産物の増産、蔬菜の配給確保、漁業水産計畫など食糧管理局關係の事務打合せに重點を置き、會議は十五日も午前の日程を農林省關係會議とし午後二時半より内相官邸に於て地方經濟事情の打合會議を開催する

ソロモン海夜戰の血祭り 敵の新鋭戰艦を砲撃撃沈々

第三次ソロモン海戰中十四日の夜戰において敵の新鋭戰艦を砲撃撃沈するに至る經過をわが戰艦乘組員により描きたる右上第一より左下第十二までの寫生圖(海軍省提供印刷許可第五七一一號)



懸案解決に成果
田中總監歸任の途へ

【新京電話】新京第三日目の田中政務總監は十一日午前九時半より宿舍ヤマトホテルにおいて在京半島人代表金應斗外六名より在滿半島人の教育内容充實、徴兵制準備教育としての特別錬成施設、職業補導問題、在滿半島人經濟の基礎擴充問題、指導理念の一元化等に關する諸答へ午前十一時在滿永樂國民學校に至り、森口校長より學校の概況を聽取したのち一、二年の授業狀況を參觀し講堂において全校生徒に一場の訓示を與へ激勵して同校を辭し、車を飛ばして日滿軍人會館に至り、關東軍笠原參謀長を初め將星、松永海軍中將、三浦關東局總長、花輪大使館參事、滿洲國張國務總理、武部長官、各部大臣、參議ら日滿顯官百餘名を招待午餐宴を張つた、席上田中總監より今回の滿洲訪問に當り各方面より寄せられたる厚情に對し衷心感謝の意を表し、併せて今後滿鮮間一層の提携を懇願し、滿洲帝國發展を祝して乾杯すれば、張國務總理一同を代表して謝辭を述べ朝鮮の隆昌を祝して乾杯、滿鮮一體の和やかな雰圍氣の裡に盛宴を閉ぢ一旦宿舍にて少憩ののち、午後三時廿七分發列車で關東軍兵團、滿洲國側代表、各界代表らの盛大なる見送りをうけ一路歸任の途に就いた、なほ離滿に際し田中總監は左のごとき談話をなした

慌しい日程であつたが滿洲國の格別の御配慮により無事大任を果したことは感謝に堪へない、今回の滿洲國訪問は建國十周年慶祝と滿參議府議長の訪鮮に對する答禮の外別に用件をもつてゐなかつたのであるが滿洲國首腦者と親しく懇談する機會を得大東亞戰下朝鮮として最も重要なる事項について十分腹蔵なき意見を交換し十分諒解を得、ともに手を取つて進まうといふ誠意ある諒解を得たことは一大收穫である

在滿半島人に對しても極力留意、善處されてゐること感謝に感謝のほかない、また在滿半島人代表諸君とも膝を交へて色々懇談したが、就中徴兵制實施にあたりその準備として特別訓練施設の設置、教育の内容擴充など相當突込んだ意見を聞いたがもつともなことで考慮のうへ期待に副ひたい、とにかく半島人に對し各方面とも色々心配をされてゐることに對し衷心感謝の意を表したい

大年目にみる新京の發展は豫想外でこの陰には日滿人の並々ならぬ努力のあることを思ひ敬意を表するものである、今回の訪滿に際し滿洲國と朝鮮とは眞に隣組であることを私は特に強調したのであるが、今後も機會ある毎に双方膝をつき合せて語る機會を作りたいと思つてゐる

製法特許
我國最初の粉末濕布藥
濕布に ビスメン
効きめが速く 保ちがよい
三十錢 一圓八十錢
東京・神田 大木合名會社

現代世界文學叢書
新刊
危險な年齡 マーシャ 三宅 譯
第一次歐洲大戰直後の英國に於いて、青春、壯夏、晩秋、初冬、それぞれの年齡にある女性の危機を描く。英女流作家中最もすぐれた人の代表作である。(二・三〇 〒一五)
黑い天使 モーリヤック 有永弘人 譯
西フランス、ランド地方、富裕な地主、娼婦はどん底におちた放浪者、婚婦を登場させた犯罪劇。カトリック作家モーリヤックの傑作(二・〇〇 〒一五)
生命の城 コルベンハイエル 淺井眞男 譯
人生の全目的を哲學に求めようとして、新たなる世界へと發足したヴルリヒの最後のねがひは「生命の城」の扉を叩くことであつた。現代ドイツ代表作家の名作。(二・八〇 〒一五)
既刊好評
ちやおつうゆえ 長野信太郎 譯
現代獨逸短篇集 片山敏彦 編
綠の地帶 鈴木力衞 譯
現代佛蘭西短篇集 今日出海 編
現代英米短篇集 阿部知二 編
ドスコチルの女中 ヴイーヒエルト 高橋健二 譯
大と飢 ボーエル 宮原晃一郎 譯
月と六ペンス モーム 中野好夫 譯
黃金の仔牛 イリフ、ペトロフ 上田進 譯
中央公論社刊
東京市麴町區丸ノ内二ノ二 振替東京三四番

文藝春秋社
現地報告 十二月號 定價四十錢 賣切れぬ中書店へ!
座談會 增産への決意を語る 産業戰士 現場人の叫び
☆勝利の理論 坂口三郎
☆ハワイよりソロモンへ 戸崎徹
大東亞戰爭の檢討 寺田彌吉
☆燦たり日本兵法 大井英雄
行列解消のための具體策 松前重義 櫻井忠溫 柳原千八 成瀨關次 下村海南
拓士魂の陶冶 内原に二座談會
勝利の船團 川崎豐次郎
戰ふ海員魂 高田正夫
戰爭と言葉 在ビルマ 草薙正典
☆太閤の南進政策 山本誠
クチンを見る 在ボルネオ 山澤兵部
世界戰爭宣言 アドルフ・ヒトラー總統 全獨逸國民に告ぐ! 總統演說全文六十枚
東京麴町内幸町・振替東京一七八〇三

大法輪 十二月號
生活禪談 澤木興道
皇室を中心とせる日本佛教 神谷文英
信濃の禪傑・正受老人の研究 林博
大東亞建設の眞言 竹林宗堂
人生々活の根本問題 金子大榮
臨濟錄提唱 足利紫山
象形文字の研究 後藤朝太郎
南印度の大祭 永見德太郎
勤王志士と其詩 城西隱士
活禪機補記 仲木俊雄
佛教基礎知識講座 藤原了然
近代的多忙と禪 市川白弦
大覺禪師 坐禪論 鳴瀧妙光
新釋 西遊記 雲山閣道人
定價 金五拾錢 (〒三錢) 半年 三・圓 一年 六・圓
東京市麴町區內幸町二ノ一 大法輪閣 振替東京一九番

日本評論社新刊
國民經濟構造變動論 名古屋高商教授 經博 酒井正三郎 著
單に方法論のみでなく同に具體的内容をもつ歴史的實踐的經濟理論の確立は激變期にある國民經濟の當然の要請として今日學界の主流をなしてゐるが、本書は國民經濟構造變動の本質究明の中にかかる課題に答へんとするものである。A5判上製五五四頁 價五・〇〇 送・三〇
滿洲農業經濟論 東京帝大教授 農博 近藤康男 著
滿洲農業の增産といふ緊急問題の核心に對して根本的解答を與へんとした著者は、先づ日滿經濟關係の性格規定から、食糧飼給における兩國の相互補充關係を考察し、進んで滿洲農法改善の基本的課題として農業生産樣構を究明する。A5判上製二四〇頁 價二・二〇 送・二〇
滿洲國統制經濟論 大阪商大講師 經博 藤原泰 著
産業的に極めて立ち後れてゐた滿洲國は、日滿關係の特殊性によりその建國當初より強力なる經濟統制を必要とした結果、獨自の企業形態を現出したが、本書はその分析を中心課題として滿洲國統制經濟の生成過程を見出さんとする。A5判上製四一二頁 價四・〇〇 送・二〇

社説 文化宣傳協議會に望む

一

大東亞戰爭[illegible]突入して、[illegible]一丸となり、[illegible]を確立することは、戰爭中の急務であるが、それには先づ[illegible]として、國民に[illegible]してこれに當るの氣魄を與へなければならず、然も他からの[illegible]によるといふより、自らの[illegible]において[illegible]これに參加せしめる方途によるを第一とする。[illegible]

二

この時にあたり、[illegible]國民總力朝鮮聯盟が、この十二月十二日を以て、各界の[illegible]を集めて文化宣傳協議會を開くことになつたのは、たしかに時機に適應する一進路として刮目すべきものがある。[illegible]、いはゆる指導[illegible]よりも具體的、[illegible]よりも實踐に重點を置いて、皇道世界觀に基く日本文化の進路を闡明し以て半島民衆の志向を指導せんとする意圖は、殊にこの際[illegible]なことであつて、その擧ぶべき道として、文化宣傳方面の眞摯な方策を求めてゐるのも、妥當かつ適切な協議題目といふことが出來る。

三

この會に列席して協議を進める協議員ともいふべき士は、半島における文化面に重要なる一翼を擔ふ人士約百名であるといへば、その席上開陳せらるべき意見に對しても、充分の期待と反響が齎らされるのは當然であるが、たゞ心せねばならぬことは、これが平時における文化運動方策の論議にあらずして、戰時におけるそれであるといふことであつて、皇軍の南北にわたる大戰果に對して、恥ぢることなき熱意の協議さるべきを期せずにゐられない。由來、この種の會合は、あるひは商業面に、あるひは經濟面に催されたことはあるが、文化宣傳面といふが如く、直接大衆の總力昂揚に關係深き分野の人士によつて、その方面のことが議せられるのは、今回が初めてのことであつて、確かに時代の一つの大きな動きであると見ることが出來る。

四

論議提案さるべきことは、今からおよそ豫斷を許さぬところであるが、出席協議員各自にありては、この點に深く留意して少くとも半島二千四百萬同胞の志向を統制し、如何にしてこれを皇道世界觀の樹立にまで指導して行くべきやの最高指標を確立し國民皆勞、以て半島在住同胞をして、今次大東亞戰爭完遂の道を誤らざらしめるのみでなく、進んで熾烈なる敵愾心を昂揚する方途につき、遺憾なき具體的方策を協議し宏遠なる日本文化を戰時態勢に結びつけ得るやう萬全の議を進めるべきことを念願して歇まない。

清新潑剌たる新規約
道聯盟の機構成る
全鮮一本の體系に置く

國民總力道聯盟規約準則はかねて新發足をした聯盟事務局において愼重研究中であつたが、このほど成案を得たので十一日聯盟事務局より發表された、新規約準則は聯盟の職能性を強化して居り從來やゝもすれば獨立傾向の嫌ひあつた各道聯盟は朝鮮聯盟に隸屬するものと明文化され、茲に半島二千四百萬國民は規約の上からも一致團結、火の玉となつて總力結集されることになつたわけである、なほ新規約を對照するに、第三條において組織を全國民及び參加團體（舊規約では全團體及び個人）と力強く包攝を明示し、第四條において『本聯盟は國民總力朝鮮聯盟に隸屬し府郡島聯盟及參加團體を統轄す』と上下の隸屬を明確にしてゐる、また第十三條において、本聯盟に總務、鍊成、經濟、厚生、輔導、防衛指導及び宣傳の各部を置く』とその構成を系統化したが從來の『[illegible]』が『鍊成』に、『[illegible]』が『厚生』にそれぞれ改められ、道聯盟の新性格を反映してゐる

規約準則

道聯盟の規約準則は次の通り

第一條 本聯盟は國民總力『何』道聯盟と稱す、本聯盟の事務所は『何（府、邑）』内に之を置く

第二條 本聯盟は國民總力朝鮮聯盟の趣旨綱領を體し其の實踐事項の具現に邁進するを以て目的とす

第三條 本聯盟は『何』道に於ける全國民及參加團體を以て之を組織す

第四條 本聯盟は國民總力朝鮮聯盟に隸屬し府郡島聯盟及參加團體を統轄す

第五條 本聯盟に左の役員を置く
會長、顧問若干名、理事長、理事若干名、參事若干名（必要に應じ朝鮮聯盟の組織に準じ參與及び評議員を置くことを得）

第六條 會長は道知事を以てこれに充つ、會長は本聯盟を統理す

第七條 顧問は會長これを委囑す 顧問は會長の諮問に應じ又は重要事項に付意見を述ぶ

第八條 理事長は道内務部長を以て之に充つ理事長は會長を補佐し會長事故あるときは之を代理す

第九條 理事は道警察部長、道産業部長、國民總力課長及學識經驗ある者の中より會長の委囑したる者を以て之に充つ、理事は理事會を組織し本聯盟の重要事項を審議す、理事は必要に應じ隨時意見を述ぶることを得

第十條 理事會、評議員會（設置せる場合に限る）は會長之を招集す

第十一條 參事は會長之を委囑す參事は理事を輔佐し事務の執行に參與す

第十二條 本聯盟に常會を置く、常會は會長の招集に依り役員集會す

第十三條 本聯盟に總務、鍊成、經濟、厚生、輔導、防衛指導及宣傳の各部を置く

第十四條 各部に部長を置き理事長及理事の中より會長之を命す部長は會長の命を承け部務を掌理し部下職員を指揮監督す

第十五條 總務部は庶務、人事、會計、聯盟組織の整備並に之が指導、地方行政機關並に參加團體との連絡調整事業成果の監査、上意下達、下情上通及他の部に屬せざる事項を掌る

第十六條 鍊成部は聯盟員の鍊成及軍事思想の普及に關する事項を掌る

第十七條 經濟部は貯蓄獎勵、生産力擴充及勞務に關する事項を掌る

第十八條 厚生部は軍人援護、戰時生活及厚生に關する事項を掌る

第十九條 輔導部は保護施設への協力及協和精神の徹底に關する事項を掌る

第二十條 防衛指導部は防共、防諜、防犯、防護、災害防止、警察其他國民防衛の指導に關する事項を掌る

第二十一條 宣傳部は國民總力運動の趣旨の宣傳並に皇道文化の指導振興、諸文化施設の整備強化に關する事項を掌る

第二十二條 本聯盟に必要あるときは有給の職員を置くことを得 前項の職員は會長之を任免す

取引所機構改革
明年上期中に着手か

【東京電話】經濟界各方面におよぼす影響を考慮して株式取引所の機構改革問題は今日まで延引されて來たが、大藏省當局では戰時下各業界の新體制に伴ひこれが機構の改革は絶對必要なりとして過般來各方面より參考資料の蒐集を行ひ目下種々研究を重ねてゐるが、このほどこれがおよぼす影響甚大なるため春早々まづ金融統制會側の意向を聽取し引續き證券業界側とも懇談會を開催、さらに當業者たる取引所側の意向を綜合しそのうへ當局案を樹立することになつた、從つて取引所機構の改革はいよいよ明年上期中に着手は必至とみられてをり結局群小取引所を吸收して證券統制會ともいふべき機構に改革されるのではないかとみられてゐる

田中鮮銀總裁
赴任は來る十九日頃

【東京電話】去る八日朝鮮銀行第八代總裁に就任した田中鐵三郎氏は同日鮮銀東京支店に初登行以來連日各方面との挨拶に多忙を極めてゐるが、十六日ごろ松原前總裁の上京を待つて事務引繼を行ひ、十九日ごろ東京發赴任の豫定である、田中新總裁は日銀に入り第一次歐洲大戰中にはロンドンにあり戰後のドイツを視察した後國際決濟銀行の日本側代表重役並に國際聯盟の經濟顧問等に就任歸朝後は關東大震災の手形處理並に昭和初年ごろの金融恐慌に際して活躍をなし更に滿洲中銀總裁としての任務をよく果したことによつても知られ行くところ可ならざるなき敏腕家で、外國語に通曉せるは勿論非常な讀書家、蒐集家である、田中總裁は訪問の記者に次の如く語つた、

滿洲中銀を辭して以來二年以上も遊んでゐたが、測らずも鮮銀總裁に就任することとなつた、朝鮮は滿洲と内地との往來の際京城には數回立寄り北鮮方面も通過した關係上朝鮮は少しは知つてゐる積りだ、朝鮮は電氣や鑛業物の資源に惠まれてこれ等に對する金融の立場から見ても朝鮮銀行の責務は頗る重大である、鮮銀券發行高も八億の數字で相當な成績を見せてゐる、自分は就任したばかりでまだ抱負を語る時期ではないが、今後は總督府一般事業家等とよく相談の上職責を果したいと思ふ、これまでの自分の經驗が多少ともお役に立てば幸である

鶴嘴、ハンマー製造業統合

【東京電話】商工省では鶴嘴、ハンマー製造工業の整理に關し[illegible]案を檢討中であつたが、このほど決定、昭和十五年および十六年度において鶴嘴、ハンマー[illegible]より四十本以上の[illegible]をうけたるもの及び一定の設備工場面積を有するものを企業單位とし未だないものは整理統合することになり十日各地方長官宛通牒した

豐國火災
戰爭保險取扱
本社大阪
各地扱所 東京 横濱 仙臺 新潟 札幌 小樽 名古屋 金澤 京都 和歌山 德島 高知 神戸 姬路 岡山 廣島 吳 門司 小倉 福岡 長崎 台灣 京城

愛國百人一首解説 【一】
楠田敏郎

萬葉から現代に到いて、和歌こそは日本精神の華であり志を述ぶるものとされてゐるがこゝに新しく選定された〃愛國百人一首〃がどのやうに戰ふ國民の心を鼓舞させ、また悲しくするかは既にしきりに喧傳されてゐるのでもわかる。こゝにわたしは作者の生きてゐた時代とか、環境とか、あるひは歌の際涯になつてゐる事件とかによつて大別しながら、略解を加へたりして作者達の心を眺めたりして行きたい。それで最も我々の身近なものに考へられる維新の志士達の作品を先きにした。

幕末志士の歌

身はたとひ武藏の野邊に朽ちぬともとゞめ置かまし大和魂　吉田松陰

岩が根も碎かざらめやもののふの國の爲にと思ひ切る太刀　有村治左衛門

あまさかる蝦夷をわが住む家としてならぶ千島のまもりともがな　徳川齊昭

天皇に仕へまつれと我を生みし我がたらちねぞたふとかりける　佐久良東雄

これらの歌を誦むと、徳川末期の天下がいかにも物情騒然たる姿を呈してゐたのがわかる。時代の先覺者であり、また烈風の如くあつた松陰は、大志空しくこの一首を殘して刑死した。しかし松陰がこの歌に託した愛國の志は、當時の後輩を奮起させ遂に事は遂げられた。松陰の殘した〃大和魂〃を繼承し、實踐に移したのは有村治左衛門であつたといへる。當時、これを除いた上でなければ何せないとまで志士達から怖れられた井伊大老を、治左衛門らの一黨は櫻田門外に斬つた。歌を作る人の眞しさ、大敵を除くに際してもなほ〃思ひ切る〃といつて、ひとの生命を惜しまうとして居る。

齊昭は、徳川三家でありながら、大義を顯して、御親政の御代になし奉るを熱望した人物だけに、當時ロシヤが帝國の北邊をうかゞふに際しても、幕府が頼りなく、むしろ怖れてゐるのを慨嘆してむしろ我任かんの意氣を吐いてゐるのがこの歌、當時としては明んなる意氣であり、豪邁であるといつていゝ。

東雄は、巫間から入つて國學の道を知り、神のみ前に歌を捧げて自らこのやうに歌名した人、德川の天下に於て〃わが母は畏き邊りの御爲に役立つといつてわしを生んで下さつた、この母の嬉しさを見よ〃と歌ひあげ得たことは當然たるものではないか。

鹿島なる經津のみ靈のみ劍を心に磨ぎて行くはこの旅　高橋多一郎

しづたまき數ならぬ身も時を得て君がみために死なむとぞ思ふ　兒島草臣

高橋多一郎は、櫻田門事件の首謀者であつたから、事を明瞭に行つて自殺した。事の成否は、日本を明るくするか否かであると信じ、心にかけて太刀を磨いたのだ。しかしこの人は、井伊大老を討つた後で、第二の計畫を行ふため、その先發隊として大阪に赴いたが、東雄の保護も空しく自刃するより外はなかつた。

兒島草臣も一黨に加はつてゐたが、井伊大老を斬る時には、病氣のため壯擧に加はらなかつたので、いまに時さへ來れば君の御楯に捧ぐぞと齒ぎしりをして、この歌をなしたのであつた。この人も、歌の心を貫徹出來ないで捕はれた。〃しづたまき〃は賤のおだまきに同じく、賤しい手に卷く珠といふこと、數ならぬ身にかぶせた言葉である。この時一方では吉村寅太郎らの一黨が中山忠光を擁して起つた。

曇りなき月を見るにも思ふかな明日は屍の上に照るやと　吉村虎太郎

青雲のむかふすきはみすめらぎのみいつかゞやく御代になしてむ　平野國臣

朝廷邊に死すべきいのちながらへて歸る旅路の憤ろしも　有馬新七

吉村寅太郎と書いた方がよくわかるが、この人は天王山に轉し、六月に戰つた末で死んだ。その陣中で月を仰ぎ、明日は自分の屍にこの青白い光がさすものと感慨し得たのは、廿七歳の青年としては立派な心境である。

平野國臣は但馬に擧兵したが、その前にこの歌を作り、自分達の力で自分達の血で、必ず幕府を倒し、御親政の御代になし奉るのだとの決意を述べたのであつた。青雲のむかふす限りとは、空のつゞくかぎりといふ意。いまや大東亞戰爭によつて國臣の志は實現した、おそらく地下で喜悦してゐると思ふ。

有馬新七の歌は、京都で藩邸中、幕府の使者が京都内にせんとするのを刺さうとしてとゞめられ、鹿兒島に歸されることになつた。その歸途詠んだもので、事の遂げられなかつたのを憤り、そのことでまた大事が一日おくれることを恥ぢた心は〃憤ろしも〃の一句に、實にあざやかに出てゐる。

ますらをが思ひこめにし一筋は七生かふとも何たわむべき　澁谷伊與作

大君の御楯となりて捨つる身と思へば輕きわが命かな　澤田愛之助

大山の峰の岩根に埋めにけりわが年月の大和だましひ　眞木和泉

この三人は、みな維新の人柱になつた歌で、松陰、高杉晉作、東雄らと同じ歸にある。和泉は、神官で眞木和泉守といつた。

伊與作は、おのれを一筋に矢にくらべ思ひこめて晉へたがため、七生のあひだ引きしぼつてゐても撓むとはないといひ、愛之助は草木に等しい身が、勝れて大君の御楯に死ねるといふ光榮を喜び、命を顧みてはゐない。心は、大東亞戰爭の華と散る勇士に通ひ、これこそ日本人全體の誇りである。

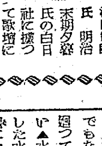
武士ではない眞木和泉も、大和だましひは人に劣らず長い年月を持ち續けて來たのをいまゝで峰の岩根に埋めた。そこから咲いた花が、新しい日本の華やかさを誇つたと誇へることが出來るではないか。

片敷きて寢る鎧の袖の上に思ひぞつもる越の白雪　武田耕雲齋

大君の御旗の下に死してこそ人と生れし甲斐はありけれ　田中河内介

君が爲め生命死にきと世の人に語り繼ぎてよ峰の松風　松本奎堂

耕雲齋は元治元年すでに從五位下、伊賀守であつたから、水戸藩の重臣であつたが、年も六十三で死んでゐるくらゐだから戰に血氣のともがらではない。一方攘夷の立場と王君の[illegible]を深く究めてゐたから此歌にも氣品と高い氣節がある。[illegible]張するため兵を率ゐて京に上らんとし高崎の兵と戰ひになつたが利あらず、北國を迴つて京に赴かうとして途中に死んだが、そのときの歌で、ただ大君の御代になし奉ることだけを思ふ心が、よく出てゐる。松本奎堂も田中河内介も死を悔ることの如く感じてゐるが、このやうな人々によつて新しい明治の御代が誕生したことを忘れてはならない。



楠田敏郎氏 明治末期夕暮氏の白日社に據つて歌壇に出づ、その後文珠蘭、短歌月刊等を主宰す、流轉、身邊雜記等五歌集あり、別に小說、歌話等の著書數種を有す、日本文學報國會小說部、短歌部會員、本社囑託

鐘紡二分減配

【東京電話】鐘紡では八日當期利益金處分案（配當二分減年一割六分）を決定、來る廿三日の定時總會に取締役名取和作、監査役松本國治兩氏任期滿了につき改選の件ならびに取締役井上潔氏辭任にともなふ補欠選擧の件とともに附議する

なほ鐘實でも四日當期利益金處分案（配當七分据置）を查定、來る廿三日の定時總會に監査役名取和作、山下太郎兩氏任期滿了につき改選の件取締役[illegible]木謙三、監査役赤司大郎兩氏辭任にともなふ補欠選擧の件とともに附議する

東洋レ二分減配

【東京電話】東洋レーヨンでは九日決算重役會を開き、當期利益金處分案（配當二分減の年九分）を查定來る二十六日の定期總會に附議する

米倉人事異動（九日附）

米倉では新義州支店支配人船橋重次氏の勇退に伴ふ支配人級異動を九日付で左の如く發令した

命新義州支店支配人池島富三郎▲同平壤支店支配人富井勝德▲同咸興支店支配人畠中太三▲同浦項支店支配人坂井興定

夕刊後の市況（十一日）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期

銘柄	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

隨想錄

小磯總督が國語の本質に透徹せよ而して道義朝鮮を確立せねばならぬといふことを口をすつぱくして述べてゐるが▲その言葉だけは鮮内の隅々にまで行き亘り京城のインテリになどうかすると一種の流行語みたいにさへ使はれてゐる▲若し形式尊重論者であつたらこれで我が事成れりと總督は喜ぶかも知れないがわが小磯大將は恐ろしくいふ事實を見徹したならば總督は苦々しくさへ感ずるだらう▲それよりも今夜は寒いから牛肉のスキ燒で一杯呑まうかといふ氣の起つたとき牛肉買ふにも配給だし闇で買はねばならぬなら朝鮮で我慢して酒を飲まうと自制する氣持▲さういふ僅かな部分に道義朝鮮確立へ通ずる道があるのだ、朝鮮一面でも病人のある家では非常に大切だが達者な者の揃つてゐる家ならなくても我慢出來ぬことはない▲金のあるにまかせて贅澤なものを食ふことはその者限りでは何でもないことかも知れないが廻り廻つてその影響する處は小さくない▲水中に石を投ずれば石の投擲した水面だけの問題ですまず波紋は岸に大波小波を起す、人事も亦これと同じだ▲石を投ぜんとする時には先づその波紋の及ぶ處を考へてからにせねば飛んでもないことになる▲先づ身の廻りから明朗にするといふことが累積して道義の原動力になるのである

大東亞戰爭第二年 (4)
文化 晴れた青空
崔貞熙

あの日、ラジオからは、米英への宣戰の大詔が渙發せられたといふ報告が、初冬の空を震はしてゐました。あの日の空はよく晴れて、青かつたことを覺えてゐます。

『いよいよ始まりましたね』

『到頭來たやうです』

隣組の人々は顏を見合せると、お互口にする言葉で、皆緊張と興奮との渦卷に活氣を呈してゐました。街頭に往來する人も、電車の中の人も、あの日は睨み合ひをすることなく、皆同じ同胞意識を呼び返してゐました。

しかしあの日から今日まで一年といふ感じはぴつたり致しません。あまりに巨大な歷史と申しませうか、敗戰と申しませうか、とにかく急激な變換は、一年が百年に相當するやうな氣がします。

から置いてきて思ひ出されますのは、昨年のその日、私は晩おそく家へ歸つたのですが、いまにもアメリカの飛行機が飛んで來て、京城市内を爆撃しさうな氣がして默られず、母にアメリカと云ふ大きな國と日本と戰爭するやうになつたことを話しながら、母に留意するやうにと注意したのですが、恰度その時です。寢てゐたとばかり思つてゐた子供が立ち起きて、

『大丈夫よ、日本は、いくら大きな國と鬪つても負けないんだ』

といふのです。私は子供の言葉に默りこむほかありませんでした。そして何の心なしに、徒らに興奮した自分が恥ぢられました。

ほんとのこと、あれから一年經つて、十二月八日が再び巡つて來ましたが、その間に一度だつて敵の飛行機が見えたことはありません。私達は相變らず御飯を食べて着物を着て、そして本を讀んだり書いたりして來たのです。至つて平和な月日の流れでした。

何と喜ばしいことでせう。何と愉快なことでせう。うんと聲をあげて『萬歲』を叫びたい心で一杯です。しかし、常に眞實は靜かなものです。人間でさわぎ立てることはありません。私たちはたゞ默つて、自分よりも國家のために思ふ生き方をしなければなりません。

いまも近所の學校の朝禮で歌ふ『君が代』が、晴れた青空に高く響き渡ります。

不連續線
拔本塞源

[illegible]に映つて目立つのは、鍾路街に陣取る浮浪兒の群で、大扉をおろした建物の玄關に、[illegible]ぱとく泣いてゐる兒や、淺黑の膝小僧を舐めて空腹を滿たしてゐる子供など、うつかり行人は同情心をそゝられて、五錢、十錢を與へるが、與へた金錢が彼等の收入になる譯でなく、それの分した兒等の近くには、必ず[illegible]らしい男が焚火をして見張つてゐることに例外はない。安價なる同情心よりも、拔本塞源的な施策が急務である。

あす授賞式
音樂競演大會

本社及び每新後援、朝鮮音樂協會主催、第一回音樂競演大會第二日は十二日午後六時半から開かれるが、十三日午前十一時から總督府第三會議室で審査の結果による賞狀、賞品の授與式が行はれる

英國崩るるの日
十三日招待試寫會

大東亞戰爭緒戰の華、香港攻略を劇化した陸軍省後援、大映製作『英國崩るゝの日』は愈よ來週封切られるが、社團法人朝鮮映畫配給社は大映と共同主催で一般公開に先立ち十三日（日）午後六時半から府民館に招待試寫會を行ふなほ當日は同映畫の上映外に歷戰の榮ある現朝鮮軍參謀多田中佐の時局特別講演がある

原稿料を獻金

朝鮮文人協會々員で現に水原にある[illegible]氏は大東亞戰爭一周年記念日の八日、その得たる原稿料を國防獻金したいといつて同協會あて金卅円を送つて來たので、[illegible]事務幹事は十一日午後本社を訪れ獻金方を寄託した

文化だより

◇水品十二月例行 十三日（日）正午本町通り行、國旗十旬、午後三時半締切、明治町集會所で披講

◇少國民文化運動打合會 十四日（月）午後六時から明治町集會所階上で開催

京日歌壇
吉井勇選

京城 宗邦 利姐
山深く音來しものかこの溪底ゆ聞こゆる水の音のさやけさ

同
華やぎしあとのさびしさうつろなる心もちつつ夜の街をゆく

園部 透
霜を踏みてをろがみまつる十二月八日の朝の畏かしき日を

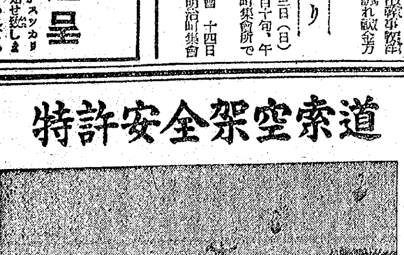
白秋の死をいたみつつ邪宗門のころをおもひて林檎むきゐぬ

大田 眞野 重野
あきらめし君にはあれど尋々に思ひ出のあり心わびしも

【締切】十二月十五日締切

ニキビを取る
自宅療法 無代進呈
ひどいニキビで永年困つた私がスッカリ治つた自宅療法の體驗をお知せ致します。吹出物や面皰ニキビ跡でお困りの方は今すぐ御ハガキ下さいませ。詳しく御返信申上げます。
大阪市東淀川區元町五丁目（東成局）安藤文子

大戰第二年への構へ
生産戰も勝ち抜く爲に
國策重點株へ御投資を
京城府明治町二
秋田證券
電話本局②一五五五

特許安全架空索道
滿洲國特許 五件
帝國特許 三十三件
迅速見積
總延長 五千粁
既設索道 五百五十ケ所
型錄贈呈

大阪市東區今橋二丁目信銀ビル 電話北濱 1596・2167 3857・6916
安全索道株式會社
代理店
三井物産株式會社京城支店機械課
京城府黄金町一ノ六三（電話本局(2)一一三一番）
安全索道株式會社朝鮮出張所
三井物産京城支店機械課内
索道の計畫・設計・見積・實地踏査等の御相談に應ず

のんで肌となり肉となる
蔘精

メンソレータム
火のある所に氣を配れ！
用心第一
不意の怪我にはメンソレータムで手當が肝腎！
肌あれ ひゞ あかぎれ しもやけ 火傷 切傷 鼻かぜ 化膿
二十五錢 四十五錢 九十錢
12・33A

時局雜誌
改造社發行・十二月號 定價五十錢
世界戰局大觀（對談）
必勝日本（グラビア）
★大東亞戰と北滿（長谷川宇一）
★南海の戰友を想ひて 高瀬五郎
★南への政治（南方記）
★前戰の戰友に送る手紙
★ボルネオ敵前上陸（陣中手記） 野原嗣作
新たなる決意 永井柳太郎
印度（詩） 野口米次郎
十二月八日 秋山謙藏
成層圏飛行 上領一夫
從軍記者十氏座談會
開戰一周年 我等の責務
將兵と共に斯く戰へり
勤皇鄕土誌（信濃2） 岩崎長思
★勤勞者の生活と能率
★共同作業の再檢討
★企業整備の將來
★統制會問答

商業登記公告 [illegible]

朝鮮洋紙配給株式會社 第三回決算公告 [illegible]

朝鮮理研護謨工業株式會社 第七期決算公告（自昭和十七年四月一日 至昭和十七年九月三十日） [illegible]

朝鮮三和電氣土木株式會社 第十回決算報告 [illegible]

朝鮮纖維貨元卸株式會社 第參期決算公告 [illegible]

銀盤に鍛ふ健民
戰捷の新春八日開幕
神宮奉賛 氷上競技

銀盤の錬成祭典—第十八回朝鮮神宮奉賛國民體育大會氷上競技は新春の一月八日から十日まで三日間（毎日午前十時開始）擧行することに決定、その要項とともにこれが全貌が十一日學務局內朝鮮體育振興會から發表された、會場は昌慶苑中の結氷狀態を考慮して平壤を第一、漢江を第二、京城を第三とそれぞれ候補地として決定、種目は速度、氷球、滑氷の三種目であるが速度競技は都市（府邑）對抗（五百、千五百、三千、五千、二千米繼走、一萬五千米耐久競技）を兼ねて擧行、さらに一般男子部（五百、千五百、五千、一萬、二千米繼走）一般女子（五百、千、三千米）男子中等（五百、千五百、五千、一萬、二千米繼走）女子中等（五百、千、三千、五千、千六百米繼走）學童（五百、千、五百、三千）の五部、氷球は一般、大學、専門、中等の四部、滑氷は女子部だけとして男子は今年に限り中止することとなつた

右のうち一萬五千米耐久競技は速度競技出場者が訓練服または制服に編衣を着用のうへ大會本部で用意した砂袋（重量五瓩）を背負袋に入れてこれを擔つて競走するといふ戰場馳驅の國防色をたつぷり盛込んでゐるが、參加者は國力增强決定合格者を條件とする、これが大會參加の申込は各道體育振興會を通じて來る廿日まで總督府學務局錬成課內、朝鮮體育振興會宛になつてゐる

固めよ〝完勝體制〟
年末、年始の國民戰爭生活强調運動
十五日から全鮮に展開

沸き立つ感謝と新たな決意に燃えて半島の大東亞戰一周年記念行事は十一日をもつて終了、こゝに二千四百萬の學と心に刻みつけた戰爭たる覺悟と決意はひたすら米英擊滅へ、さらに決戰第二年への戰爭態勢はますます確立された、顧みれば、感激のあの日『十二月八日』を中心として去る五日から記念諸行事が半島の津々浦々に繰展げられ、五日から三日間を大東亞戰第一年の自己反省と自肅、いよいよ八日には歷史的な大東亞戰爭完遂祈願祭、記念大會、八日から最後の三日間を決戰第二年に備へて邁進する實踐行事を至誠をこめて實施、その中でも戰意、軍人援護、生産擴充の戰鬪を中核體として戰力增强國民運動に展開した、しかして多彩なる展覽會、講話、講演、放送はすべてこれわれら二千四百萬の戰意を振起す心の糧であつた

かくして大東亞戰爭第一周年記念日を期し、いよいよ決戰態勢が鐵壁に構へられて來る十五日からはさらに年末、年始の國民戰爭生活强調運動に入り、過去一年間の生活を回顧反省、細密な檢討を加へ必勝新年の生活實踐計畫を樹立、國民は皆共に勞苦を分つ戰友たるの感情をふかめ、互に親切感謝をもつて生活の明朗化を圖り不急品の購入、衣類の新調を見合せ、忘年會、新年宴會の廢止、贈答品やり取りの弊風を摘正して、國債の購入、貯蓄の勵行に努めるのである、さらに新年に入つては注連飾、門松の飾替え、お正月料理の贈答、年賀回禮を廢止して新年挨拶を年賀郵便にすること、華美な服裝、遊覽旅行を慎み、新年諸行事の勵行などによつてこゝに戰爭に勝つための自肅と實踐の國民生活を强化確立、前線の勞苦に應へて〝銃後これ戰場〟の組織へに燃え

必勝貯蓄運動
朝鮮代表も出席 福岡市で協議會

立つのだ

【福岡電話】大日本婦人會朝鮮ならびに九州地方必勝國民貯蓄組合運動協議會は十一日午前九時から福岡縣會議事堂で開かれ大日本婦人會桐野田文化部長、富安貯蓄課長、大藏省本部事務官、熊本遞信局小畠貯蓄部長、古川興業部長のほか九州各縣支部主事ならびに理事、朝鮮本部平井主事ら約五十名出席、貯蓄源の捻出その他戰時生活の合理化による組合の擴充强化と貯蓄の增强達成に關する各案件につき

徹底を遂げた その結果貯蓄强調對策の一として推進員を設置することになつたがこれは婦人會本部より各縣あて年額三十八百円を補助し原則的に町村に一人あて眞に實踐に當める人物を選んで貯蓄に對する認識の徹底と指導に當らしめる 更に本年五月卅日の大日本婦人會東久邇宮妃總裁殿下奉戴記念日を期し各縣毎に必勝國民貯蓄組合婦人大會を開き貯蓄報國に邁進することに決定最後に同協議會名をもつて組合の强化と擴充に對する決議を行つて午後四時半散會した

〝抑留日誌〟と共に
夫、健在の快報
南方開拓の一家に揚る凱歌

夫を南洋の地に殘して大東亞戰爭直前に故國へ引揚げた人に一周年の今日、勇しくも夫健在の報が生々しい抑留日誌と共に妻の許に屆けられ輝かしい戰捷と共に心から喜びに溢る南方開拓の一家がある

京城東四軒町卅八號將秀氏方に假住居をしてゐる岸周子さん（三〇）は昨年五月日米英關係がいよいよ急迫したスマトラのメダンに夫岸將勝氏（三七）＝將秀氏令弟＝が踏止まり雜貨挑滅のため殘留の決意に斷ち切れぬ愛着を殘して二兒幹雄ちやん（五）紀子ちやん（三）の二人を伴つてその兄の許へ歸つて來たかくて大東亞戰爭の勃發と共に夫は獰猛な蘭印兵の手に擒はれて……その後は全く消息を絶たれての懊惱とはいへ夫の安否を氣遣ふうちに日ならずも蘭印全土は日章旗の下に屈伏したが依然將勝氏の行方は判らなかつた、かゝるうちにも戰況は進み續々捷報は全一億國民を沸かしたが敵地に在留する邦人の安否は判らず、かくするうちに本年八月ポルトガルのロレンソマルケスにおける兩國の交換船は懷しい故國への心を、人を搭載にはらんで歸つて來た十月九日、白十字の標識も鮮かな交換船鎌倉丸は横濱埠頭に姿を現したが〝あゝ〟出迎へた妻の目には遂に夫の姿は見出すことが出來なかつた、空しく歸る周子さんはなかば諦めと共に只管夫の行方を求めて淋しい歲月を送るうち圖らずも大東亞戰爭一周年の近づく〇月〇日、將勝氏の勤めてゐた元ボルネオ商會社から一通の『抑留日誌』と共に今は無事住み馴れたメダンで再び働く將勝氏の手になるやうな消息が齎されてきた

これによると將勝氏は昨年十二月八日蘭印官憲に捕はれ多くの同胞と共に非道な待遇をうけつゝ濠洲アデレードの抑留所に拘禁され、本年八月十六日敵の交換船シティ・オブ・キャンタベリー號（英國船）でロレンソマルケスへ送られ日本の鎌倉丸に無事乘船したが、途中戰塵をさまつた昭南島に下船それより同志〇〇名と共に再びスマトラへ引返して殘して來た邦人の殉難の跡に留つてゐたといふことであつた、また抑留日誌には當時の模樣が細々と書き留められてあつたが、さうした中にも大國民としての誇りを失はなかつたわが日本人の凛々しい姿などが鮮明な日誌となつて記錄されてゐた、夫の無事を知つて岸一家は歡喜をあげてそれを祝したが、近く兄將秀氏は弟の後を追つてスマトラに向ふことゝなつた

なほ岸一家は大正十四年南海の島を求めて移住し獨力をもつてセレベス、スマトラ、ボルネオ等に邦人の天地を開拓、先覺者として大いに奮鬪してゐたが昭和九年蘭印政府の壓迫加つて資金難となり、昭和九年將秀氏は弟將勝氏夫妻をスマトラに殘して郷里へ引揚げ、さらに本年五月周子さんが二兒と共に兄の許へ歸つたものであつた

【寫眞＝夫無事の報に喜ぶ岸さん一家と、円內は無事スマトラに戻つた岸將勝氏】

夏川茶舗

國防献金を本社へ寄託

黃海道黃州郡明治公立國民學校では四円六十七錢を國防獻金として十一日本社へ寄託した

濟生院養育部 實習生の赤誠

濟生院養育部の實習生一同は今春以來荒蕪地二畝歩を開墾して得た粟の代金十三円七十二錢を國防獻金として十一日本社へ寄託した

血書、純忠を誓ふ
志願兵訓練所生が感激の献金

志願兵訓練所第十期生はさきに榮えある修了式を擧行、去る十月廿六日には志願兵の譽れを昂揚すべく京城府內の街頭行進を行つたが府民の颯のやうな歡迎に感激した志願兵の天晴れな姿に寄せられた京城府內の一志願兵は『純忠報國一途』と大書した血書と切々腕を打つ次のやうな文と金三円を添へて京城佐野鍾路警察署長宛に獻金をたのんできた、確乎たる決意に燃える半島青年の熱誠を、さらに京畿道原田警察部長はこのほど麾下警察署長に報告してきた、以下はその原文のまゝである

署長殿……有難う御座います、步道には全市民男女老若を問はずの大歡迎、あの熱況—白髮の老人が痩せた手にしつかりと日章旗を握つて無意識に打振り喉をはりあげ枯れた聲で『バンザイ〳〵』と叫んでゐる、そのくぼんだ目には玉のやうな貴い涙が溢き溜つてゐました、自分の胸には熱い涙がぐつとこみあがり全身には熱した血汐がぐるぐる廻る、志願兵であればこそ斯くも全市民から心から盛大な歡迎を受けるのだ、又當局がどれ程努力を盡したか身に餘る接待、自分の足には知らぬ元氣が出て步調高らかに聲も漲れよと志願兵行進曲を歌ひました、興奮に足の痛さも忘れ夜床に入つても興奮でなかなか眠れない、あの盛大な市民の心からの歡迎、あの貴い涙顏のお婆さん、本日歸頭の時間にも儀隊長殿からしつかりと訓育された戰陣訓……さうだ、最後の一月を益々磨きあげ萬歲聲々と轟き渡る戰場に爆彈を抱き……肉彈……喊聲……そして敵の斬壕へ…最後は櫻花咲く九段で逢ふのだ、署長殿あの感激は一生忘れません、自分のやうな青年もゐると思つて益々半島青年の努力を證して下さい

櫻花咲く南より來ました 一志願兵

父の遺訓を守る南海の孤兒

【比島イロイロ十一日同盟】南方共榮圏確立の礎石として皇國に身を捧げた日比混血の孤兒二人が『南國を護れ』との父の遺訓を奉じて勉學に勵んでゐる物語が目下比島にある前線將兵の話題となつてゐる、パナイ島イロイロ市の日本人小學校長相森功氏（新潟縣）の下で薰育されてゐる山本茂雄（一七）と文子さん（一〇）の兄妹がその主人公である、茂君達のお父さん山本秀一氏（福井縣）は十六年前比島ネグロス島のカバンカラン砂糖會社の技師として活躍、比島人の信望を集めてゐたが本年五月ビサヤ地方が皇軍に占領されるや米軍に蹂躙後の疲勞をものともせずわが第一線部隊の通譯を志願部隊の作戰や宣撫工作に協力してゐたがネグロス島アギサン附近の討伐に從軍中密林の中で敗殘兵に狙撃され壯烈な戰死を遂げた、またお母さんのパキトンさん（三〇）も九月中旬カバンカラン附近の部落外れで敗殘米兵に日本人の妻であるとの理由で虐殺されてしまつた、僅か一ケ月の間に兩親を失つた茂君兄妹はその後イロイロ市日本人小學校長相森氏に引取られ懸命に勉強してゐるがこれを知つたわが前線將兵達は除隊を見てこの小學校を訪れ獨り少い慰問袋などを與へて兩孤兒を慰め勵ましてゐる、茂君は語る

父の戰死の報を聞いた時には憎いがふるふるへて米英に對する憤りで一杯でした、母が殺されたのを知つたのは十月の初めでしたが悲しさでもう涙も出ませんでした、妹をしつかと抱いてどうして生きようかと幾夜となく泣き明かしました、しかし今では相森先生のお蔭で勉強しております、父が戰死する前に書いた日記帳に『本年四十一歲、わが日本男子に生れたる喜びをしみじみと知る、われら日章旗の下に何時倒れるか知れぬが子ら二人はわが志をついで南方開拓に挺身して呉れんことを願ふ』との一節があり、私共はこの父の志を受繼いであくまで南方に生きる人間になりたいと思つてゐます

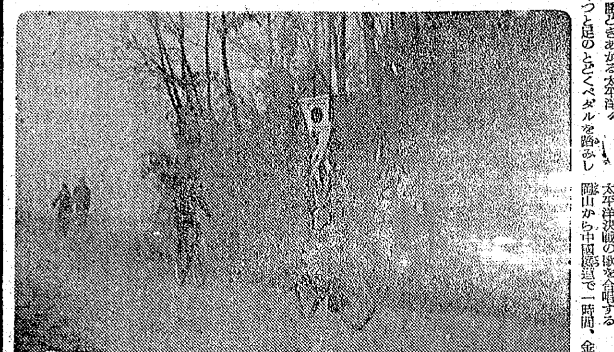
文子さんの話 兄さんははじめ飛行將校になるといつてゐましたが今度は船に乘る望みださうです、私は看護婦になります、こゝにある澤山のお人形や雜誌なども皆兵隊さんの慰問袋から頂いたのです、私は早く大きくなり兵隊さんに御恩返しをしたいと思ひます、日本は未だ知りませんが十五歲になつたら兄さんと一度行つて見ると約束をしてゐます

京城府會 十四日招集

十四日午後二時から京城府會議室に京城府會が招集、一、十七年度京城府一般會計歲入出豫算追加更正の件一、京城府民病院費特別會計歲入出豫算追加の件一、同京城府公益質屋費特別會計歲入出豫算追加更正の件一、京城府公益質屋條例中改正の件一、京城府公債の件一、土地無料貸付の件一、廢道敷地賣却處分の件一、府有地採石の件が附議される

軍神の生家を訪ねて（中）
中國班 三島特派員記

烈々草刈りに訓ふ
傷つく指に果ついひつけ
故片山義雄



寫眞＝軍樂を前にて片山軍神の生家へ向ふ學童使節（上）と墓前で接待を受ける一同＝金子特派員撮影

〝立つや忽ち殲滅の勝どきあがる太平洋〟やつと足のとどくペダルを踏みしめ踏みしめ、子供たちは高らかに太平洋決戰の歌を合唱する

岡山から中國縱貫道で一時間、金川といふ山間の小さな町で下りて更に一里半餘り、新庄川の支流に沿ふ小さな盆地に點在する五百戶足らずの福渡村、五城村に片山兵曹長の生家がある、同金川町に一泊した使節隊一行は、早朝合同部隊村上氏の御手配による自轉車十二台に乘つて早朝宿舍を出發した、朝陽ついての自轉車ドライブに子供たちは大喜び、自然に口をついて出る元氣な唱歌が山から谷へ谷から山へ谺する、片山兵曹長の生家は、新庄川にかけられた村道の橋のたもとにあつた、〝茶碗やの義つちやん〟兵曹長の少年時代の呼び名通り、お家は瀬戸物商であつた、家の前まで出迎へに出てをられた軍神の壯嫂さんは自轉車を下りた子供たちに

〝おう、おう、遠いところをよく來てやつて下さいましたな〟と胸いつぱいに笑みをうかべて子供たちの頭を撫でられる

〝疲れたことでせうな、上つて休んで—さあ、上つて—〟

嫂さんはまるでお孫さんにでもいたはるやうに

〝いまお菓子がなくて、これだけしか手に入らんしのう〟と、內地では殆ど手に入らないお菓子を出して兒童たちを歡迎された

〝みんな可愛に頭して——〟お母さんは一人々々の顏を目ですひ取るやうに見廻された、軍神の少年時代の面影が、胸一つぱいに湧んだのかその瞳に光るものが宿つた

〝劍道の好きな子でしてな、なかなか熱心にやつて居りましたそれから戰爭ごつこが、——天神山で戰爭ごつこをやつてはどこかに傷をこしらへて歸つて來たものです〟

お母さんは壁にかけられた色あせた卒業式の日の義雄少年の寫眞を見上げた

〝義雄や〟

やさしくさう呼びかけさうな、いとほしげな目であつた

〝なかなかの腕白ものでしての……〟

思ひ出をぢつと噛みしめるやうな顏であつた

元氣はよかつたが、義雄少年は父母や目上の云ふことには少しも逆はなかつた

〝わたしが町へ用があつて出かけるとき、夜度したお膳の上に茶碗を洗つて、草を刈つて、牛小屋の掃除をしておきなさい、といふ用事を書いた紙きれを置いておくと、云ひつけたことは全部やつてありました、どういふものか草刈りの下手な子で、刈るたんびに指を切つたものです、それでも私は草刈りを止めさせず、指をしばつたまゝ、云ひつけただけの草は刈らせました〟

兒童たちを自分の孫のやうに優しくいたはつたこのお母さんの一體どこにそんな嚴しさがあるのだらう、しかし母親の優しさは、同時に本當の意味での嚴しさと、同じ內容をもつてゐる、このお母さんは溢れるほどの慈愛に義雄少年をしつかり包んで、しかも嚴しく育て上げられたのだ

軍神の墓所は生家から三町ほど奧へ入つた山の中腹の松林の中にあつた

〝お墓に參つていただきますかな〟

といつて兩側掃をもつて案內される父榮吉さんに隨つて墓所へ行く一行に村人たちは道をよけて、『御苦勞さま』と丁寧に頭を下げられる、この純朴な人情と美しい自然と、そして母の嚴しい慈愛の中に片山兵曹長はその少年の日を送つたのだ

〝ほら、あの松の木に寄生木があるでせう、あれがまつみどりといつて、もう少しすると眞赤い小さな實がなるのです、その實はチユウインガムのやうなものでして、吹くと風船玉のやうにふくらむので女の子がとても喜ぶのです、片山さんは木登りがとても上手で、高い松の木に登つてはあの實をたくさん取つて來てやつて、女の子を喜ばしてやつたものです〟

同行された小出村長、小西校長の說明に子供たちは立ち止つて空を見上げた、いつまでも、いつまでも、まるでまつみどりの中に軍神の少年の日の面影をさぐらうとでもするやうに——幼い頭を御墓所に捧げお墓へ引きかへすと、嫂さんの御心づくしで五目めしの用意が出來てゐた〝うまい、うまい〟といつて貪しやぶりつく子供たちにお給仕して下さるお母さんの顏は、まるで慈母觀音のやうにやさしかつた、部屋の中は陽がいつぱいさし込んで明るい子供がいたづらしてせき水瓶を外したのか水車がゴトン、ゴトン、と音を立て廻りはじめた、ゴトン、ゴトン、——つきせぬ軍神の思ひ出話の床しい佇しいであつた

【寫眞＝故片山特務少尉の墓前に禮拜する使節團＝金子特派員撮影】

渾名〝頑張り屋〟
努力に盡きる爲人
故特務少尉 横山薫

名和長年公の義擧には村民擧げて古布で作つた旗を押し立て、兵糧米に村全部の米を差出し、その功により古布庄村といふ村名をいただいた、軍神横山薫特務少尉は大正六年この由緒ある村に生れた

山陰の東入舊で下りて、驛前で[illegible]藏の御手配による自動車二台に分乘、本家に向ふ

〝あのすり鉢を裏がへしにしたやうな山が船上山、その向うにところどころに雪をかぶつた山が大山—〟

瀧井先生の說明に子供たちは一せいに自動車の窓から首を出した、歴史と傳統とそしてこの雄大な自然の中に横山特務少尉は人と爲つた、子供たちはしつかりと目にやきつけるやうに、いつまでも窓から首を引つこめない、日本海から吹いてくる冷い風に頰に鳥肌が立つた、生家は、古布庄村々はづれの加勢蛇川にのぞむ上法萬部落の中ほどにあつた

〝暴れん坊でしてな、少しも勉強はせず家の手傳ひのないときには遊んでばかり居りましたよ〟

御隣家へ通されて長兄繁美さんの思ひ出話はこのやうに始められた

〝勉強は出來ない子でして、高等科二年のとき航空兵學校の入學試驗を受けて失敗、それに發奮しまして、それから殆んど寢ずに勉強して、海軍志願兵檢査には合格したのです〟

少年時代のあだ名は『頑張りの繁ちやん』であつたといふ、この頑張りで日本海の荒波を見て育つた少年の日の夢、憧れの海軍に入り更に水雷學校、潜水學校とも最優秀の成績で卒業したのだ

〝兄弟思ひの子でして、眞く上の兄武雄が姫路の輜重隊で入隊したところ腹が空くのと、馬が暴れるのが一番困ると手紙を寄したところ、それを知つた繁はそれからといふものは毎日お菓子を掲ゑ、また馬頭觀音に日參したものです〟

繁美さんは賞品となつた水雷學校普通科卒業のとき授與された懷中時計をなでながら

〝海軍へ入つてからも家へ歸るときは必ず家中のものに土産を買つて來てくれました、祖母さんから、甥にまで……〟と優しかつた弟の思ひ出話をつづけられる

〝この時計は弟の賞品でして〟

子供たちの目が一せいに時計に吸ひよせられた『どうぞ見て下さい』と差出されるのを、子供たちは賞物を卒業證書をいたゞく時のやうに押しいたゞいて、きちんと坐り直してぢつといつまでも見てゐた

すゝけて眞黑くなつた梁、茶褐色にやけた疊、もう文字板のはげかかつた六角時計、この家で軍神が寢起きしたのだ、この疊の上で—そして賞品を見ながら一際何を感じて居るのだらう、時計は七人の子供の手から手へ渡され、何回となく往復してゐる、〝空氣が悪くなつたから〟と繁美さんが障子を開けられると、庭に柿の木が赤い實を五つ六つ殘してゐるのがあざやかに目に入つた

〝軍神は柿が好きでしたか〟

子供の一人が無邪氣な質問を發した

〝えゝ、とても好きで、よく登つて食べて居ましたよ〟

兄さんの眼も思ひ出をさぐるやうに柿の木から離れなかつた

いつまでも良く安い シチズン西頭時計

大東亞戰 感狀集
大本營報道部記者 生出幸夫著
谷萩陸軍報道部長 平出海軍報道部課長 題字
國谷 温文學博士 序文
B・6 ￥1.50 〒0.14
草むす屍、水漬く御魂、天翔る英靈。皇軍大戰果にかける勇士の感狀と其戰陣物語は鬼哭啾々我等の胸を搏つ。陸海空の軍神が全靈全身を皇國に捧げた此の尊き魂の記錄を一億國民に贈る
文學博士 吉田熊次著 教育日本 B6 價二・〇〇 〒一六
東京神田神保町三ノ二九 振替東京五八一八〇番 教育研究會

產前の便秘に 產後の催乳に
胃腸加答兒 食慾不振 消化不良症 胃酸過多症 便秘・緩便
三〇〇錠 一・八〇 一〇〇〇錠 五・〇〇
消化榮養劑 ヂアトミン錠
東京日本橋區人形町三丁目 三寶製藥株式會社

NISSEN
製法特許の純正劑
二瓦ズルホンアミドの純正劑にして單に內服に依り下記諸疾患に對し的確に奏効するのが特徴なり
適應症 化膿性婦人科疾患 扁桃腺炎 中耳炎 惡性感冒 其他あらゆる化膿性疾患
20錠 100錠
ポレガン錠「日染」
製造發賣元 日本染料製藥株式會社 大阪市此花區春日出町
一手販賣元 株式會社 稲畑商店 大阪市南區順慶町二丁目

國策代用車 乙種製作 各種車馬 型錄進呈
合成工作所 京城府竹添町[illegible]

貸借對照表（昭和拾七年拾月卅日現在）
朝鮮三立製菓株式會社
[illegible]

伸びる小供に 栄える日本 乳のよく出る薬
ラクトミン
國際新薬研究所
代理店 松坂商店 京城府元町二丁目八五番地 電話龍山五四四番

全砂鐵高速度鋼 砂鐵のドリル
品質斯界の最高權威
日本砂鐵鋼業株式會社 本社・大阪備後町二 支社・東京丸の內

富士 トランシット レベル
修理應需 在庫豊富
株式會社 伊藤商行 機械部 京城府漢江通三角地 電話代表④龍山六四三番

勞務者募集
求人者 就業地 募集人員 應募資格 待遇 提出書類 申込締切日 詮衡場所 旅費 其他
春川職業紹介所

工員緊急募集
求人者 日本マグネサイト化學工業株式會社
就業場所 [illegible]
北鮮 清津府 清津職業紹介所

日本勧業證券 京城支店
戰時債券

工員募集要項
求人者 就業地 求人數 應募資格 待遇 提出書類 申込締切 申込場所
京城職業紹介所

三國の誓ひは不動

米英の滅亡疑なし

三國締盟記念晩餐會　谷外相の挨拶要旨

【東京電話】三國軍事同盟締結一周年記念晩餐會席上、谷外相は左の要旨の挨拶をなした

協定締結一周年を迎ふる今日過去一年を回顧するにその間日獨伊三國ならびにその盟邦が大東亞および歐洲否全世界にわたり獲得したる戰果は歷史上その例を見ざるものであり、大東亞および歐洲大陸における米英兩國の勢力が悉く驅逐され世界新秩序建設の基礎すでになりたることは隱蔽のほかはない

しかしながらこと米英兩國はその豐富なる物資の力を恃みとして百方反撃の準備を整へてゐる模様であり我々が共同の目的を完遂するに至るまでにはなほ幾多の困難障碍を排除するの要あるは申すまでもない。たゞわれ〳〵の世界觀と米英の世界觀とは根本的に相異してをり、彼らが廣大なる領土と豐富なる資源とを恃みとするに反しわれ〳〵は强靭なる精神と崇高なる理想とを目ざしてゐるのである、これわれ〳〵三國の彼らに對する道義戰勝の原因であつて一言にして申せば精神力が物資力に勝つといふことである、日獨伊三國ならびにその歐洲における盟邦諸國民は自分の捧ぐる生命こそ世界恒久の平和を確保すべき新秩序の礎石なることを確信してをり、殊に人類相愛の大道に立脚し、天與の分を守り有無相通ずるの共存共榮の世界を建設することが盟國の國是であることを確信してゐる日獨伊三國は、新秩序建設にあたり盟邦の緊密を新設し、相互の緊密をその國交の基礎とするものである

この點自由またはデモクラシーの標語のもと現實には人道にもとる搾取政策を行つてゐる米英兩國とは根本的にその立場を異にするのである、いまや人類歷史の轉期的變革期にあたり米英の專横政策がその當然に破綻に入りたること疑ひを容れざるところであつて私は右のごとく崇高なる理想の實現を目標とする日獨伊三國及びその盟邦が、この際いよ〳〵その協力關係を緊密にし敵側に乘ずる隙を與へなかつたならば三國協定の目的とする光輝ある勝利をかち得ることは明かであると信ずるものである

今日三國協定締結一周年の記念日に當りこゝに三國必勝の確信を披瀝するとゝもに今後三國團結の益々鞏固ならんことを祝つてやまざるものである

晩餐會席上谷外相の挨拶（寫眞）

無限の歡喜と誇

オツト獨大使答辭

昭和十五年九月日獨伊三國が三國條約を締結したる時この條約の目標の一つはアメリカをして最後の瞬間まで中立の態に忠實たらしめんとした點である。しかるに北米合衆國の指導者らは一路參戰に邁進するの意圖から本條約の誠意ある、明瞭なる目的が誤解されざるやうに配慮したのである。彼らはアメリカは日獨伊三國があくまで平和を欲すること但し正義に基く世界新秩序建設に關する共同の意圖については一歩たりとも讓歩せざる確乎たる決意を有する誠意に滿てる希望に信を置かなかつたのである。三國條約締約國は最初から本條約の背後には如何に大なる不拔の力が潜んでゐることまた本條約は全世界を打つて一丸とする强き力によつて結ばれたことであつた、かつてはわれ〳〵をそれから遠離し、ただわれ〳〵

勝利決定の一歩

血盟の戰ひの一年　伊大使挨拶

今日相共に迎ふる一周年記念日に當り軍事的分野および政治的分野における極めて激烈なる敵の反攻があつたにも拘らず、われら三國をして勝利の途上に決定的一歩を全からしめた赫々たる戰果を私どもは公正なる滿足感をもつて眺め得る、すでに獲得した足場により私どもはそれが如何に困難なものであらうとも前途に横たはる幾多の試煉に對し樞軸國軍の實力と武功を完全かつ絕對に信頼することによつて大なる確信をもつてこれに當ることが出來る、ムツソリーニ總理が最近の演說において想起せられた如く、日本が共同の戰ひに寄した貢獻は日本國民の勇氣と實力の新しい輝かしい證左であつてこれは久しき以前より日本國民の德性と可能力を學び知つて來た友邦にとつては豫期せざるところのものではなく、これに反對して最後の瞬間に至るまで不可能なる安協乃至は安易なる勝利を實現し得ると午睡の夢を貪らんとした敵國には極めて手嚴しい警鐘であつた、敵國があらゆる機會に示した認識不足によつても私どもは如何なる敵の讓歩も些かの躊躇も見せることなく、すでに開始せられた戰ひを絕對にその合理的な結末に齎さねばならない

況んや民主々義勢力の理想によつて支配される世界が如何なる狀態のもとに陷るべきかを私どもは自身の苛酷なる經驗をもつて私どもに敎へてゐる過去の歷史を研究するときます〳〵その感を深くするにおいておやである。血盟の戰ひの一年はわれら三國の活動と生命の全領域に瀰がる相互の協力と理解のうちにイタリー、ドイツ、日本の團結をます〳〵鞏固化したのである

熾烈なる戰時におけるかゝる連繫關係はヨーロツパおよび亞細亞におけるわれらの勇敢なる盟友とともに必ずや私どもを私どもが共同の勝利とするところのものに導かずには措かないであらう

たる營當なる資源および工業地帶の盟にのみ利用さるべしとせられは今日ではわれ〳〵の手中に確保されてゐる、盟邦各國の勇敢なる軍隊が全世界の陸に海に空に壯嚴すべき戰果をあげつゝある時、東亞に於ては數百萬の勤勉なる手が働きわれわれすべての一致せる意圖および勢力の崇高なる目的であり崇高なる道義的理念によつて指導さるゝ新秩序は着々として建設されつゝある、米英が自己の互惠と利己的利害の爭ひを脫はんと努めてもなほ能はず、古き世界の無秩序を暴露しつゝあるに反し三國條約國はその確乎たる盟力とその明白なる意圖をもつて今日すでに來るべき新秩序に對し確信的印象を與へつゝある、しかして戰爭によつて已むを得ず破壞を生じたところに對してはこれを可及的速かに回し大戰遂行の眞只中にあつてわれ〳〵の歷史の偉大にして建設的なプログラムを着々實現せしめんとわれ〳〵は努力しつゝあるのである、日獨伊三國その與國および友邦が今日この記念すべき三國軍事同盟締結一周年に當つて慶するところの慶賀と讚辭は再び偉大なる戰闘精神となつて三國軍事同盟の第二年目においても勝利の大道を驀進する勇猛心となり鞏固精神となるのである

天の配劑わが樞軸

世界新秩序の礎確固たり

谷外相放送

【東京電話】谷外相は十一日午後六時半から日獨伊三國軍事協定締結一周年を記念して三國ます〳〵提携協力してこの大戰爭を勝拔き世界新秩序の建設に邁進すべきを强調、左の要旨の放送を行つた

三國協定締結以來過去一ケ年の世界戰局の推移を顧みるに三國が東亞および歐洲否世界全般にわたり獲得したる戰果は實に目覺しいものがあり、これにより日獨伊三國の目標とする世界新秩序建設の礎はすでに築きあげられたと申し得るのであつて三國のため將又世界人類のため衷心より祝福に堪へぬ次第である、しかしながら今日の時代に達するまですでに世界人類の擴ひたる犧牲もまた決して少くない、この意味においても三國協定の條文にも明かなる通り戰爭の挑發者たる米英兩國の指導者たちの責任はあくまで糾彈せらるべきものと信ずる、元來日滿日支の協力にしても帝國と東亞における他の諸民族との協力にしても將又歐洲大陸における獨伊兩國と他の諸民族との協力にしても畢竟する所はすべてその歷史、文化、地理、經濟などの諸條件に最もよく適合せる自然の要求であり、いはば天の配劑であつて米英の利己心に基く如何なる壓迫もこれを阻害することは不可能かつ不合理なものであるにも拘らず米英兩國は全く自己本位の世界支配慾に基きあるひは思想攪亂によりあるひは經濟的壓迫などの方法により凡ゆる干涉を試み自然の流れに逆行し天の攝理に背かんとしたのである、物質的世界觀への執着强き彼らは今や世界が道義を中心とする世界觀の下に新たなる誕生をなさんとしつゝある事實を正視することが出來ないのである、從つて過去一ケ年の間に彼らのうけたる斷罪と失望とはわれ〳〵の想像に餘るものがあるが、これ全く自業自得といふのほかはない、惟ふに二年前日獨伊三國が大東亞および歐洲の地域における新秩序の建設に協力邁進せんが爲盟約を締結した時三國はこれにより世界平和の確立に多大の貢獻を期し、米英兩國の識者もまた新時代の趨勢を正しく把握し自己本位の世界支配慾を捨てわれわれとともに各民族固有の使命に對する相互の理解と敬愛とに基づく公正なる世界平和の確立に協力せんことを秘かに期待したのであるが、彼らの濟度し難き自負心と飽くなき物欲との結果遂に今日の世界的破局を招來するに至つた

今や日獨伊三國は相携へ世界革新の先達として眞に人類相愛の精神の下に正義に立脚したる新秩序建設に邁進してゐるが、かかる高邁なる理想の下固く手を組み進軍する三國々民の前途には如何なる障碍も粉碎せらるべく、またその力强き援護の下に東亞および歐洲の諸民族が米英兩國の重壓より解放せられ、共存共榮の樂しみの共に成るの日遠からざるべきを確信する、しかしながら米英は物資萬能の信奉者である、從つて今後必ずやその廣大なる領土と豐富なる資源とを頼み執拗なる抵抗を試むべきこと想像に難くない、またすでに礎を築かれたる世界新秩序建設の大業の完成にはなほ幾多の困難を伴ふべきこと當然である、されば勇氣と確信に基く絕對的相互信頼の下に三國民はこの記念すべき日に當り三國協定の文字と精神とをさらに充分に味得し戰爭を勝ち拔くの決意を新たにして共同の目的達成に邁進せねばならぬ

鐵鋼非常對策委員會設置

【東京電話】戰爭の新段階に對應して戰力の飛躍的增强をはかるためには鐵鋼の急速なる增産が先ず焦眉の急務とされるので、鐵鋼統制會では過般來これが對策につきあらゆる角度より檢討を加へすでに着々實施に移しつゝあるが今回いよ〳〵鐵鋼非常對策委員會を設置することになり十日理事會においてこれを正式決定した、右委員會は小日山理事長を委員長に各部會長を委員とするもので鐵鋼消費規正の徹底的强化ならびに遊休設備、未完成設備、死藏鐵材の非常回收などに關し具體的方策を決定實施せんとするものである

樞軸軍ダバルカ占領

【ベルリン十日同盟】獨軍當局發表によればチユニジヤ、アルジエリヤ國境方面の要衝タバルカを十日占領したと傳へられる

半島銃後版

"楊州郡民號"獻納

【議政府】感激溢るゝ大詔を奉戴して茲に一周年を迎へるに當り廿萬楊州郡民の赤誠こもる愛國機の獻納を決定し米英擊滅の海軍機を獻納することになり八日森山郡守、二瀬警察署長、牛島道會議員、邑面長を代表して大條議政府邑長、民間代表として杂島諸氏が海軍武官府へ出頭し楊州郡民號として八萬円を獻納した

安城分會の査閲

【安城】帝國在郷軍人會安城分會の査閲は十二月七日午前九時から安城農業學校々庭で京城兵事部小林少佐査閲官として執行、戰時下重大なる責務を擔ふ郷軍の烈々たる決意を眉宇に漲らせつつ折柄の寒風もものかはと銃劍術各個教練、部隊戰闘教練と平素の猛訓練を今日を晴と發揮、何時でもお召に應じ得る心構へも頼母しく十二時終了、査閲官より優秀なりとの講評を受けた

世は陶器代用時代

【光州】時局の非常色を反映して從來幅を利かしてゐた鐵製加工品の硝子佳の容器は供給不円滑を免れぬ狀態となつたのでこれに代るべきものは陶器製の容器に改良するを得策とし目下商工獎勵館が中心となつて研究中である、陶磁器の容器をもつて代用すれば生産費も低廉であり陶土も道內に豐富に埋藏されてゐる强味があるので容器の形式に工夫を加へ使用後家庭の利用價値を有するやうになれば陶器の代用品でもガラス品、金屬製の器に優るとも劣らぬので今後は窯業加工業の發達に併行して製陶企業の實現に期待してゐる

國債戰に見事凱歌

【海州】郵便局に割當られた國債は十一萬四千円債券五萬二千二百円で昨年に比し何れも五割以上の增加を示してをり、去る七日から一齊に賣捌かれたが、民知られぬ海州府民の貯蓄力を遺憾なく發揮し初日全部賣盡された

振はぬ上層の貯蓄

【鎭南浦】府では十一月末の貯蓄實績を戶口訪問により調查したところ小口の方は最も成績よく大體割當目標に到達してをり頼母しい現象を露らしてゐるに反し、大口の方は成績不良で有産階級の一大奮起が望まれてゐる

棉花供出に總進軍

【統營】必勝二年へ邁しい戰線を開始し、戰力の增强へと郡內二百二十四ケ面から生産された棉花は去る五日現在で百五十萬貫を突破、これが代價五十萬円が農村を潤ほしてゐるが、これが増産をそのまゝ貯蓄へも繰入れようと共同貯蓄も實施してゐるので一萬三石の御奉公に農民は振ひ起ち年末までは二百萬貫突破へと猛進軍を續けてゐる

甘谷水利近く着工

【慶州】かねて認可申請中の慶城甘谷水利は去月廿日附で正式に認可された、同水利は本年度から明年度まで二ケ年繼續事業として總工費六百三千円を投じて近く着工するが蒙利面積は甘谷面梧杏、睡場、城峴、梧弓四ケ里一帶二百十七町歩、水路は幹線が二條で延長二千二百七米、貯水池の貯水量は百萬立方米、堰堤は廿七萬六千平方米、完成の曉は約五千石の籾が增收される見込みである

勞働戰士に朗報！

【咸興】勞務者に朗報……生産擴充に挺身する勞務者に少量のお酒でも飮ませようとする親心から今般咸南道では十八米穀年度醸造原料の一部として馬鈴薯、稷黍、粟米、高粱、碎麥等の原穀四百六十四石を配給することゝなつた

ラヂオ　12日

朝　七・〇〇「歷史は敎ふ」岡野清豪②「愛國百人一首」放送各地（合）八・〇〇今日のお知らせ▲八・二〇（鮮語）同▲九・〇〇「此の一年から得た私の戰時生活指標」稲澤琦子▲九・三〇國語會話の時間（朝鮮家庭向）放送國語講座（鮮語）▲一〇・〇〇フユノオンタク」田代律子▲一一・〇〇低學年の時間「冒險ぐもより」南松枝ほか

畫　〇・三〇マンドリン五重奏『愛國歌集』田中常彥ほか『ひかる2獨唱と合唱』南方民謡集』むらさき會▲一・〇〇朗讀『公に奉じる心』（鮮語）倉田百三作▲一・三〇田明道▲四・三〇（鮮語）科學物語『爆彈の自慢話』吉松中央中放送『樂團の出來るまで』松

夜　六・〇〇シンフン2戰爭部附屬第一國民校兒童▲六・三〇京畿高女校長▲七・三〇國民合唱子『今井康松ほか2物語『新篤恋』一吉川英治作・守田勘彌▲九・〇〇（鮮語）1京畿歌謠『小野春香歌』大辛『鶯鳴恋日3譜』鶯の唄』朴天鏞ほか2樂『正樂演奏所員

大いなる祭【5】

その前夜（五）

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

その噂。

南滿の港灣通りを、リベイラホテルの前から、波陀の特別機橋の方へ、悠々たる足どりで歩いてゆく支那服の男があつた。

不夜城をほこる港門の夜も、南滿よりの海岸は、人影も稀らであつた。彼は時々立停つて手ぱなをかむ、よく見ると、手ぱなをかむやうに見せかけてゐるだけで鋭い眼を動かしてゐるのだ。

戒嚴が相當なく周邊に配られてゐる。機橋近くなると、彼は足を緩めて、もと來た道へ引かへし始めたが、突如、何を嗅ぎつけたか、ぴたりとその場に釘付にされたやうに動かなくなつた。次の瞬間、彼は、いままでとはうつて變つた敏捷な足どりで、並んで薄暗い木蔭に身をひそめた。

と、間もなく岸壁にちらせる波の音に交つて良港な港內から、ざく〳〵と櫓のしきる音が聞えて來た。

『來たぞ』

いまいましさうに、支那服の男は唇を噛んだ。が、それは紛れもなく、ぐつと男は、聲を殺して、まつた。

やがて、一艘の蒸氣船が街燈の光芒の中に照し出された。

『おい、あつちへ着けろ』

船から低く叱りつける聲がした。廣東語であつた。

機關の彼方には稅關吏の詰所があるので、どうやらそこを避けてゐるらしい。

『よし、よし』

別の聲がした。船からひらりと三人の男が石段へ飛び上つた。皆一様にオーバーの服裝であつたが、際の下までもある長いオーバーは、支那人に適ひなかつた。

『大丈夫か』

今度は英語で船の中にゐる背の高い男が云つた。

『有難うございました』

三人はていねいな口調で、船の男に禮を云つた。

『アリツデマン氏によろしく』

三人の中で一番年長者らしいのが、愛嬌に聲をひそめて云ふと、船の男は、それに答へず、

『おい、離るんだ』

と、船のある廣東語で船頭に命じた。

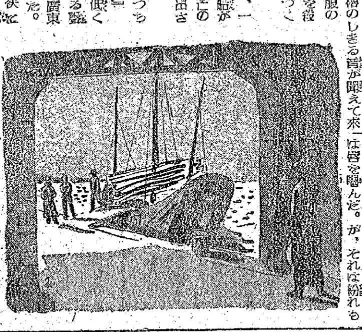
三人は、船を一寸見送つてから、云ひ合せたやうに、外套の襟をたて、すたすたと街の方へ歩き出した。

支那服の男は、何か警戒してゐるやうであつた。といふのは、背の低い年長の男を中央に、ほかの二人が左右に別れて、絶えず周邊を警戒してゐるからである。

『自動車をこゝまで廻させて頂ひましたが、目につきますから、歩いてゆくことにしました』

若いやせつぽちの男が云つた。年長の男は默つて頷き、足をはやめた。

と背後街の入口の白墓建の倉庫の前まで來た時であつた。だしぬけに自動車のエンジンの音が聞え、一台のセダンが疾走してくると、三人を引つさらふやうに乘せて闇に姿を消した。



新刊紹介

▲ピエル・キユリ傳（キユリ夫人著渡邊慧譯）白水社科學選書十二卷、既に「キユリー夫人傳」で知られてゐる偉大な學者らしく夫たるピエル、キユリーの一生を描いたもの（一円八〇錢、東京・神田・小川町三ノ八、白水社）

▲時計の歷史（M・イリーン著玉成康彥譯）色々な物語を歷史の中に織込んで時の觀念の發達、時計の形のうつりかはり、我々の生活に時計の不可缺なること等極く啓蒙的に且つ印象的に記述されてゐる（一円三十錢、東京・神田・神保町三ノ六ノ七、鵠書房）

▲國民總力（十二月號）「大東亞戰一周年を迎へて」波田重一「朝鮮聯盟の改組斷行」福平凡夫、他諸氏、其他記事滿載（十五錢、京城府南米倉町九、國民總力朝鮮聯盟出版株式會社）

▲東洋之光（十二月號）▲短歌研究（十二月號）

專賣特許　ゼオラ　藥用歯磨　ゼオラを使ひ始めてから歯の力がめつきり强くなつたと申されますが、それは主劑ゼオライトの獨自効果です

映畫評論　十二月號　戰爭と戰爭映畫　飯田心美・上野一郎・田坂具隆・高木俊朗・登川尚佐　ビルマ作戰と小津……飯田心美　比島攻略戰……滋野辰彥　新人の抱負（座談會）……木下惠介　映畫に於ける笑ひ……飯島正　失笑的偶感……八尋不二　笑ひの意味と形……大野敏郎　映畫の音のトリツク……滋谷實　滿映作品への構想……矢原禮三郎　姿三四郎……黑澤明　東京・日本映畫雜誌協會　六〇錢・送三錢

せきづみ病　カリエス、骨膜炎、神經病　元木青髓藥本家

靴を丈夫にする　サンエッチ靴クリーム

パリモアーチック

毛髮の若返り！　白毛・赤毛・拔毛・禿頭に「新研究」　「クロミン」が創製せられ、惱める人々は今や、大喜びです。

冷え症　一週一球！家庭で樂な治療法　惠乃玉　東京府三タカ町井之頭公園南通　資命製藥株式會社奉仕部

お肌の榮養に　肌アレ・小皺豫防に　洗顏・化粧落しに　アレ性に・就寢前に　ユニスクリーム　ウテナ製品

わきが　自宅無代進呈　新療法

產科・婦人科　醫學博士森川益夫　森川病院　朝鮮神宮參道入口　電話②三三二二　入院隨時

古本　高價買入　金剛堂書店　京城明治町　電本三三七番

和田皮尿性病　京城本町一丁目

丈夫で履きよい靴　杉本幸重商店

消火ポンプ　大東亞警防機社

都旅館

漢基韓　耳鼻咽喉科　醫學博士　京城和信前　電光671

プリント　タイプ印刷

井上內科　院長久國上井　昭和通ロータリー　電本1951

靈術能力發現法

笠衣產婦人科　醫學博士衣笠茂　旭町一丁目一八八　電本5912

京日案內廣告　御申込は京日案內廣告部

債券金融最高峯

京日案內　案內料金（前金）　一號型（三行）金參円參拾錢　二號型（五行）金五円五拾錢　三號型（十行）金拾壹円　求職一號型　金壹円六拾五錢　姓名在社料　毎一回壹円拾錢増シ

巡查　ピアノ　オルガン、修繕、調律　京城府本町二丁目　倭庄　電本〇〇四五番

求職　社員　電話　生後　求素　貸事務所　譲物　傳貰　蔬菜　鑛山技術　職業教授　賄婦を求む

住宅至急讓る　南源之助
鐘淵朝鮮製鐵
採用
求む土地付建物　田中六次郎
記帳係募集　若草映畫劇場
求賣家　朝鮮理研金屬
貸家を求む　日畜工業
從業員募集　女子事務員　鐘紡

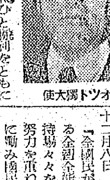
明治座　九日より上映時間表　ニュース　慈悲心鳥　おもかげの街
朝日座　八日より六日間　清水の爆笑　漫才隊
京城寶塚劇場　九日より十二日まで　母と戰場　山國村　日本ニュース第一三〇號
若草映畫劇場　十一日より十五日　1 獵犬　2 野球の妙技　3 ホームグラフ　4 式根島風土記　5 植物感應現象　6 日本ニュース第一三〇號
喜樂館　十一日より　柳生月影抄　或る日の隣組　文化映畫　日本ニュース
若劇　十一月十一日より三日間　日本ニュース　慈悲心鳥　おもかげの街
東亞劇場　十一日より十三日マデ　日本ニュース　文化映畫　モンパルナスの夜　ジアイナリン・キジノブ
城南劇場　十一日より十三日マデ　日本ニュース　文化映畫　隣組記　雪子と夏代
東洋劇場　劇團星群公演　十二月十一日より　家族
和信映畫館　女學生と兵隊　日本ニュース
城寶　城寶樂劇隊　東洋舞踊集
京劇　九日より　日本ニュース　養魚田　愛國の花
大陸劇場　十一日より十三日マデ　日本ニュース　文化映畫　太陽の都　フリゾン・ラスプア
浪花館　日本ニュース　靑空は舞ふ　奇傑黑鷲
桃花劇場　十一日より三日間　日本ニュース　揚子江　空征かば
新富座　十一日より三日間　ニュース　起ち上る泰　蒼空　ともだち

京城日報 夕刊

高松宮殿下台臨の下 誓ひも固く記念祝典
けふ榮えの樞軸の日

【東京電話】わが大東亞戰爭に呼應して日獨伊が對米英共同の戰爭遂行に署名して早くも一周年を迎へた、十一日こそは三國が軍事同盟に固き契りを結んだ『樞軸の日』である、この日午後一時帝國ホテルでオット(獨)インデルリ(伊)両大使主催の記念午餐會が高松宮殿下の台臨のもとに谷外務、青木大東亞、賀屋大藏、嶋田海軍、八田鐵道、小泉厚生、寺島遞信、岩村司法の各大臣はじめ原樞密院議長、東鄕、天羽、白鳥、武者小路、來栖、齋藤(良)松田、堀田など元駐獨伊大使ら朝野の名士をはじめブルガリヤ、ルーマニヤ、ハンガリヤ在京樞軸使臣ら約一百名出席のもとに開催され、日獨伊をはじめ樞軸各國旗に飾られた大宴會場で米英撃滅の誓ひも固く和氣藹々たる交歡が行はれ、かくて一時過ぎ殿下には全員奉送裡に御歸還、列席者一同散を盡して散會した、なほ夜は午後六時半から外相官邸で谷外相主催の記念晩餐會が獨伊兩國使臣を中心にブルガリヤ、ルーマニヤ、ハンガリヤの三國使およびわが駐獨伊使臣を招いて開催され、同時刻から『日獨伊軍事同盟締結一周年記念國際放送』として谷外相、リツベントロツプ獨外相、チアノ伊外相が電波に乘せて樞軸の意氣を中外に放送、敵性國家群を壓倒する

勝利への確證見ゆ
記念午餐會席上 オット獨大使挨拶

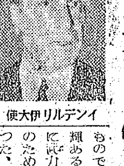

オツトー獨大使

軍事同盟より戰ひと勝利をともにする搖ぎなき契りに固く結ばれた同盟諸國はその軍事的協力の過去一年を顧みてまことに誇らしくかつ大いにこれを喜ぶものである、この間われ等の共同の敵は甚大にして決定的な打擊を受けた、ドイツおよびイタリーはその忠誠なる戰友ルーマニヤ、ハンガリーおよびフインランドとともに〳〵大東亞共榮圈の正義に基づく新秩序建設の戰ひにおいて、日本國民が遂行しつゝある偉大な働きと日本軍の英雄的行動による輝々たる勝利とを心から讃嘆してゐる、すでに戰ひとつたる多くの戰果は實に絶大であり、將來克服すべき多くの使命を果すに當つて把持すべき精神については東條總理大臣閣下はさる十二月八日『全國民が一人殘らずその有する全智全能を傾け盡し、各自の持場々々をしつかり敢々として努力を重ね、出來得る限り増産に勵み國民生活を戰爭に順應せしめ、日本の全經濟機構の強化に寄與せんことをわれ〳〵は茲に固く決心せるものである』とまことに感激深き言葉をもつて表現された、この精神たるや實にわれ〳〵民族の心に深く根差すところの不屈不撓の勝利への意志と確固たる決意の精神と同一のものであり、この精神の中に本使はわれ等の共同の勝利への第一の確證を見るものである、三國同盟締結國ならびにその政府は正義に基づく世界新秩序建設といふ偉き理想のために戰ひつゝあり、この理想はわれ〳〵が共に相協力して勝利を獲得するまでは斷じて止めぬ、今次大戰のゝちと雖もなほ高く掲ぐものである、われ〳〵は謹んで今次大戰に戰歿せられたる將兵を偲び、またわれ〳〵が今次大戰に當つて齎らしたる輝き戰果を思ふとき、われ〳〵は戰時においても平時においても共に相協力すべき義務あることを深く銘へられるものである

御祝電を御交換

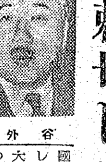
【東京電話】天皇陛下には十一日日本國、ドイツ國、イタリー國間協定締結一周年につきドイツ國總統ならびに伊國皇帝陛下と御鄭重なる御祝電を御交換あらせられた

共同の勝利へ
インデルリ伊大使挨拶


インデルリ伊大使

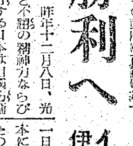
昨年九月廿七日、日獨伊三國は世界新秩序の建設と世界人類の福祉のために三國同盟を締結した、この同盟は英國を挑撥すると共に米國はこれを契機として日獨伊三國に對する敵性態度をいよ〳〵露骨化し、特に日本の生存すら脅威するに至つた、英國に對して武力抗爭を行ふことによつて國家としての發展を遂げ、『自由』の戰士と自稱する米國がかゝる態度に出たのは矛盾も甚だしいといはねばならない、かゝる態度は東亞の諸民族をアングロサクソンの奴隷制度下に置かんとする野望を暴露したものである、昨年十二月八日、光輝ある陸海軍と不屈の精神力ならびに武力を保持する日本は自國防衛のために蹶起するのやむなきに至つた、しかして一年前の十二月十一日イタリーとドイツは直ちに日本に參加して對米宣戰布告を行つたのである、今日われ〳〵は共同の理想と決意と強力な手段をもつて勝利を獲得するために戰つてゐる、現在イタリー國民は日本ならびにドイツら盟邦と肩をならべてすべてを犧牲にしても共同の勝利を獲得する決意を固めてゐる點を余はこゝに確認したい

頼母しき戰友獨伊
谷外相の答辭


谷外相

本日は日獨伊三國が共同の敵に對し相攜へて戰爭を遂行することとなつた歴史的なる記念日である、過去一ケ年三國の國民は戰友の間柄として武勳を頒ちつゝ勝利を目指して邁進し來つたが、日獨伊三國およびその盟邦がこの間に獲得した戰果は眞に驚異的と申すべく、大東亞および歐洲の地域より米英の勢力を一掃し、すでに世界新秩序建設の礎石を築き上げたのである、この新しき新時代の黎明期に際し私共が讃辭措く能はざるは歐洲における盟邦諸國民の勇戰奮鬪に基づく戰果の偉大なることゝ新たなる建設のために實施せられつゝある諸施策がその規模雄大なることである、そも〳〵民族の優劣は個人の場合と同樣、幾多艱難の試煉に際つてはじめて明瞭となると思ふが、天才的指導者の統率の下に獨伊兩國民の一系亂れざる統制力、第一線將兵の果敢なる戰鬪精神、銃後國民も滅私奉公の精神を發揮せられつゝあることはわれ〳〵がかねてより兩國民について抱いてゐた考へを如實に證明するものであつて欣快に堪へぬところである、一方敵は戰を重ねてゐる敵國はその軍隊的頽廢に最後の望みをかけ、やゝもすれば獨伊の困窮とか、國内の不一致とかを宣傳喧傳してゐるが、かくの如きは悉く事實の根據を缺くものであり、我らは獨伊兩國民の團結力がその指導者に對する無條件の信頼と新世界の建設といふ理想の實現に對する感激により裏づけられてゐることを諒解するに吝かざるものである、また敵側には獨伊兩國と帝國との關係についても種々揣摩臆測をなすものがあるが、三國の關係は絶對的なる相互信頼の念により結ばれてゐるのであつて、三國は今後においてもます〳〵この緊密なる關係を增進すると共に敵側の妨害を排するの要ありと考へる、私共は歐洲の盟邦諸國と二大陣營と固き盟約を結び有史以來の大戰爭を遂行してゐることに多大の滿足と誇りとを感ずるとともに、われ〳〵もまた盟邦獨伊兩國にとり最も頼母しき戰友たることを確信するものである

亞細亞の日來れり
相共に米英擊滅へ
バーモ長官 印度へ放送


バーモー行政長官

【ラングーン十一日同盟】バーモビルマ行政長官は八日夜ラングーン放送局より印度向け初の放送演說を行ひ、大東亞戰爭に對するビルマの確固たる決意を述べるとともに印度とビルマは結束して米英撃滅に邁進すべきことを强調した、余はさきに十二月八日を『アジヤの日』と呼ぶことを聲明した、その理由は今次大東亞戰爭が全アジヤのための戰ひで、かつアジヤが一丸となつてその傳統的仇敵に對抗すべき戰ひであり、しかもこの戰爭の動向がアジヤの全民族にとりまたその子孫及びその文明生存權にとつて最も深刻かつ重大であるが故である、しかもこの大東亞戰爭が實にこの日に勃發したからである、余は今日アジヤの民族がすべてそのアジヤ的血統と本能により余と同樣にかゝる見解をもつてゐるものと確信する、今次の戰爭は究極的には日本の米英に對する戰ひであるが、根本的にもまたこの戰爭こそはわれ〳〵の戰ひでありアジヤ人の復興と權利および生存のためのアジヤ諸民族全體の戰ひである

ビルマの民衆はかつて印度およびアジヤ諸國と同樣に米英に隷屬され、この屈服の絆によるあらゆる苦しみを嘗めたのみか、この不法秩序のため半世紀にわたつて武裝を解除され貧窮のどん底に突き落された奴隷となつて驅使されたが、われ〳〵は民族的精神と誇りを維持して來るべき解放の日を待望し續けた、この日が遂に到來した、この日こそ實に昨年十二月八日であり、全ビルマ民衆が蹶起し偶像に對抗して日本軍とともに戰鬪し日本軍に協力して戰ひ、その際後には全ビルマ青年は義勇軍を結成し、生命の犧牲と敵襲の危險を物ともせず戰つた、これこそビルマ人が大東亞戰爭を如何に評價してゐるかを如實に物語るものであり、しかも必要とあらばさらに犧牲を拂ふ用意あることを證明するものである、われ〳〵自身の知性のみならず、われ〳〵の血潮と本能よりかく考へかつ行動したのであるビルマ人は今やこの戰爭に勝ち得るか、然らざればすべてを失ふことを知つてをり、ビルマの將來が新秩序の下にあることを理解してゐる、アジヤ、ビルマが現在の斷乎たる決意をもつて日本軍に感謝するとともに印度とビルマが現在の斷乎たる決意をもつて祖國擁護してゐることはいふまでもない、この際印度とビルマは共通の敵英國の支配に對抗してともに戰つた今や印度にも絶好の機會が到來した、全印度民衆は今こそ傳統の仇敵に對抗する大東亞の戰爭に參加する秋である、余は一ビルマ人として、親愛なる印度民衆がわれ〳〵に代りこの偉大なる解放の進軍に加はることを勸告するものである、前途なほ多難にして遼遠、われ〳〵の犧牲はさらに大きいであらう、しかしわれ〳〵が絶對確信をもつてゐるのは最後の勝利がわれ〳〵のものであり、われ〳〵全民衆の念願が實現するといふことである、日本、印度、新生支那、ビルマをはじめ東亞の諸國が相結束してアジヤの解放と勝利の偉大なる日を迎へるまで、今こそ共に邁進すべき秋である

田中政務總監
半島學童の勉學を視察

【新京電話】滿洲國の日程を終へた田中政務總監は十一日午前新京ヤマトホテルに往訪の半島人有識者と種々懇談ののち、同十一時國都永樂在滿鮮國民學校に赴き半島學童の勉學ぶりを視察、ついで正午日滿軍人會館において滿洲國主催の午餐會に臨席、張國務總理、武部長官、三宅協和會本部長、各部大臣、軍代表など多數と懇談歡を盡した

日本軍の脅威
濠首相國民に警告

【ブエノスアイレス十日同盟】キャンベラ來電=濠洲議會は十日開會されたが、首相ジョン・カーチンは午後下院に出席し太平洋の戰局につき報告、濠洲國民の奮起を求めた、カーチンはまづニューギニヤ、ソロモン、西北濠洲の戰況につき『ニューギニヤ戰線における濠洲軍の損失は最近までに二千百九十名であるがうち六百四十名は戰死もしくは重傷である』と述べ、ついで西南太平洋作戰におけるカーチン、ニミツツ、マツカーサー三者間の協力は円滑に行はれ戰略的に選擇してゐると强調、轉じて濠洲派遣軍隊の犧牲による兵力不足をとりあげ銃後の生產增強を要望し、最後に日本軍の潜勢力に關し全國民に警告して次の如く述べた

太平洋戰爭の開始前後、チヤーチルとルーズベルトはまづドイツを第一に打倒しついで日本を片付けるのだと述べたが、反樞軸軍がドイツを打倒するまで日本軍の發展を喰ひ止めるのが濠洲の任務である、米英兩國はそれ〴〵西南太平洋戰線に從軍を送つて濠洲を援助してゐるが、敵の勢力を完全に反撃するには未だ充分ではない、しかも濠洲はエジプト戰線その他に軍隊を派遣し最近もセイロンに二個旅團を派遣した戰局の現狀において、濠洲に關する限り樂觀を許す材料は全然ない、日本軍の占領地域の廣大さと、日本軍が十分準備を整へて戰爭を開始した事實をわれ〳〵は寸時も忘れてはならぬ

樞軸派佛人一齊檢擧
ダルラン政權

【リスボン十日同盟】アルジエー來電によればダルラン政權は九日樞軸派佛人の一齊檢擧を開始しアルジエーでは二百餘名を檢擧した

敵遺屍八百七十
新四軍剿滅戰續く

【濟南四十日同盟】蘇魯邊區方面に作戰中のわが部隊は新四軍蟠據した地點に猛撃を加へ敵新四軍の完全剿滅戰を續行、その根據地を漸々覆滅しつゝあるが、十一月十五日作戰開始以來十二月八日までに左の綜合戰果を收めた

敵遺棄死體八七〇、捕虜九〇、(鹵獲品)小銃七一八、輕機迫擊砲擲彈筒各一、その他多數

なほわが軍はこの敵區内に強力な政治工作を施しつゝあるが、新四軍の壓制下に虐げられてゐた避難民も續々復歸して同地帶は日一日と明朗さを取戻してゐる

伊軍戰況發表
敵造船所爆擊

【ローマ十日同盟】イタリー軍司令部十日發表=一、九日夜敵機は再度トリノ市を空襲、多數の家屋を破壞し各所に大火災を生ぜしめた、被害は概ね甚大である、同夜の死傷者數は未だ不明であるが前回の敵

敵なる攻擊を加へ、一萬六千トン級ならびに一萬トン級船舶一隻に直擊彈を浴びせてこれを擊破した

陸海軍の軋轢激化
米軍事記者 内情を暴露

【リスボン十日同盟】ニューヨークタイムス紙の軍事記者ハンソン・ボルドウインは太平洋の前線を視察した結果に基き連日同紙上に論文を掲げ、米軍の内部軋轢を暴露してゐるが、ニューヨーク來電によればさらに最近の紙上において陸海兩軍の内輪揉をとりあげつぎの通り述べてゐると傳へられる

陸海軍の軋轢が太平洋において緊密なる協同作戰を阻害してゐるのは明白な事實である、兩者の反目は主としてウエストポイントの陸軍士官學校とアナポリスの海軍兵學校の傳統的な對抗意識に起因してゐるが、それが險惡化したのはミツドウエー海戰以來で、當時海戰に參加した陸軍機が眞先にハワイの基地に歸還して海軍部が未だ全然情報を入手してゐなかつたのに乘じて戰果を報道し、陸軍機の活躍による
かの如き印象を與へ、その結果、米國民は陸軍の方が遥かに大きな戰果を收めたと信じこんでしまつた、ところが事實は全く正反對で多少なりとも活躍したのは空母から發進した艦載機だつたので、海軍は多數の將兵を失ふし、根據地に歸つてみればハワイの新聞は全然事實に反する報道で埋つてゐるので陸軍部の事實を...一方海軍當局の發表もやたらに曖昧度に上つて行つた
陸軍ばかりで損害の發表は海軍を通じて行はれるので勢ひ失態したのみならず、海軍省の信用をいつも非常に遅れ國民の信用を失墜したのみならず、海軍省が太平洋の各地に放送されたときは餘りにも事實と相違するので戰鬪に參加した將兵は啞然としてしまふ、かかる海軍當局の遣り口は米軍の士氣を昂揚する所以でもなければ、また敵の士氣を沮喪させる效果も全然ない

つぎに太平洋の作戰系統がニミツツとマツカーサーに二分されてある結果、濠洲の危機を再來的にしてしまつてゐる、ソロモン作戰の主要目的はハワイによつて占められ、それについでニュージーランド、ニューカレドニヤ群島、ニューヘブライズ群島が重要な役割を演じてゐる、從つて濠洲の輸送防衛はソロモン作戰の主要目標ではなく、米海の企圖するところは日本海軍力を壓倒して北方に進攻し日本軍の支配下にある西太平洋の心臟部を衝かうといふにほかならないが、元來ニミツツとマツカーサーとの當然の作戰區域分擔によれば、マツカーサー擔當區域は東經百六十度以西、赤道以南および東經百卅度以西、北緯廿度以南で、濠洲、ニューギニヤ戰區を全部含むが、ソロモンは一部しか含まれずニューカレドニヤも除外されてゐる、ソロモン海戰が生じたとき、この境界線がちやうどガダルカナル島を折半してゐたところからさらに西方に移動し、ガダルカナル島全部を南部ソロモン群島とともにニミツツの指揮下に置くとゝもに、北部ソロモン群島にある日本軍の基地は全部マツカーサーの所轄に入つた

伊軍十一月の人的損害

【ローマ十一日同盟】伊軍司令部は十日公報をもつて各戰線における十一月中の人的損害をつぎの如く發表した

◇陸軍ならびにファッシスト義勇軍【東アフリカ戰線】戰死四〇〇【北阿戰線】戰死一九一、戰傷五二九、行方不明三三八四【東部戰線】戰死一三二、戰傷三五七、行方不明一〇八【バルカン】戰死一三一、戰傷三五、行方不明四六
◇海軍 戰死一〇九、戰傷二六六、行方不明二四〇
◇航空隊 戰死四八、戰傷七六、行方不明一四〇

對土工作に米大使暗躍

【リスボン九日同盟】アンカラ來電によれば、去る七日歸任した駐土アメリカ大使スタインハートは九日トルコ外相ならびにサラジョグル氏と會見しトルコの中立問題ならびに武器貸與法の對トルコ適用問題に關し協議をとげたといはれる、なほスタインハートは右會見においてトルコの中立に關しトルコの希望するやうな保障を與へ、またトルコの陸軍強化の要望に應ずるため武器貸與法の適用に關し新たなる言質を與へたといはれる

世紀戰爭と半島の覺悟
奥平武彦 【下】
半島の負荷更に大
長期戰の樣相深刻化

【三】

昨冬の歐洲戰線の縮擴戰に東亞における我が勝利が如何に樞軸軍を鼓舞したことであつたか。戰艦ビスマーク號を撃沈し突戰せるプリンス・オブ・ウエルス號、ビスマーク號に最後の與を爲せるドセツトシャー號など次ぎ次ぎの艦艇が歐羅巴に如何なる感激を呼び醒ましたことか。全印度、印度支那半島の民衆に、海上の制覇によつて覇權を恣にせるイギリス海軍が日章旗の前に敗頽しゆくを、如何に渇仰の念に燃えて目撃せられたか。我が南方作戰と印度洋制壓が印度兵、濠洲兵、新西蘭兵の歐洲、北阿への出動を阻止し如何なる影響を歐洲戰局に投ずるものとなつたか。すべてこれらは、過去一年米英に加へた皇軍の戰蹟が世界的作戰のうちに、如何に世界的影響を及ぼしたかを示す僅かの例にしか外ならぬ。殊に、世界最大を誇る米英二大海軍を緒手にこれをひき廻し、各個擊破に、戰史空前の偉蹟をたてつゝある我が海軍の戰蹟こそは、この世紀戰爭の特徴として永く青史を飾るものでなければならぬ。

『メーン號は米國人の手によらずして喪はれた唯一の戰艦、我が米國に於ける五十年間の戰艦の歴史に於て敵の爲めに一隻の戰艦をも喪失してゐない』といふ矜持をもてるアメリカ海軍が、開戰劈頭に太平洋艦隊の主戰を全滅せしめられ、無敵の誇句はソロモン海戰に戰艦七隻以下艦艇百二隻の擊沈破を蒙つたことは、如何に深刻なる打擊を與へ、アメリカを戰慄せしめつゝあるか想像に難くない。アメリカ當局が戰の眞相をひた隱しに掩はんとするのもこれがためである。ソロモン群島に逐くに逐けぬ窮地に追ひ込まれたアメリカは、開戰一年、反攻に起ち上らんと焦つてゐる。こゝに大東亞戰爭の新樣相の一がある。ジユツトランド海戰以來最初の主力艦の遭遇戰に水雷戰隊の夜襲戰に、壓倒すべき戰果が收められてゐるが、これは廣汎なる大洋作戰の一部で、島嶼海岸の基地と、動く基地とよりする航續力大なる我が航空機、潜航艇を有する我が機動艦隊は、太平洋、印度洋を席捲し縱横に馳けて敵艦の擊擊殲滅に、敵基地の攻略破碎に邁進しつゝある。既に發表されたるソロモン群島上陸作戰は、水も洩らさぬ陸海軍の緊密なる協同の下に行はれ、ひとたび時機至らば如何なる大洋をも越え、アメリカにさへ進攻すべきことを示し、敵國の心膽を寒からしめてゐる。ともあれ、吾人はソロモン海戰を數千哩の遙けき海域の交戰としてでなく、我が立てる海の、珊瑚海、爪哇沖の海戰の如き直接さを以て身近く感じつゝ、今やこの戰爭の性格が深刻なる長期戰的樣相をとりきつたことを改めて認識せんと欲するものである。一つは、歐洲戰局の新情勢と、一つは、ソロモンを前線の基地としつゝも怠りうることなく出擊しきたる執拗性に、發激と生産力を恃む米英の眞劍なる態度を戰取出來るからである。

【四】

近代戰爭を總力戰たらしめた第一次大戰は、歐羅巴の成年男子をすべて動員せしめた。今次大戰の勃發以來、歐羅巴交戰國は全人口を擧げて、直接作戰の目的に合致する方向に動員せしめた。樞軸、反樞軸の國家いづれも、戰線に戰鬪せざる日があつても、軍需生產に戰鬪の火花して彈らざる時なく、一切を傾けて軍需生產力の增強に勞力を傾注してゐる。いふまでもなく、近來戰爭は、莫大なる物資消耗戰であつて、戰爭の歸趨は如何にこれを補給し、敵を壓倒するに足る軍備を整へるかに據つてゐる。米英を敵として戰ふ我が國が、國民の總力を結集し、生産力を增強するところなくしては、この完勝を期することが出來ぬ。既に支那事變に高度國防國家の一翼たるべく發展しきたれる朝鮮が、大東亞戰爭の遂行にその負荷される使命は重且大を加へた。朝鮮は、その人的資源、經濟的資源の双方に、戰力擴大のために貢獻すべきことが要請され、半島の相貌また日を逐うて一新時期が劃されつゝある。眞に一人の手を拱ける遊び人なく、戰爭遂行の必要物資は悉く醵求、獻納され、總線を緘はぬ敢鬪精神に燃えつゝある際にこのとき新たに徴兵令の施行が決定せられ、半島の男子、皇軍に入つて、上御一人の股肱の軍人たることの道が開かれたことは、世界史あつて以來の一大決斷を前にし、皇民としての實務を要すを得しめられたのであつて、光榮まことに半島に厚たりといはねばならぬ。半島人の召されて皇軍に入れるものが、如何に盡忠報國の權化たるかについては、靖國のみ社に祀られた半島出身の勇士にその範例がある。百濟の昔、我が皇師に配屬せられ勳を靑史にとどめたものも多かつた。舊くは黑龍江の戰に勇名を馳つてピーター大帝の兵と戰ひ、近くは江華來寇のアメリカ艦隊を擊退した歴史事實をさへ、吾人は想起できる。皇軍精兵は、その召さるゝ個人の榮譽によるは勿論であるが、その家門、その鄕黨、ひいて社會一般によるのであるから、ひろく半島全體の責任たるや大なりとせねばならぬ。更に、義務教育の實施が決定せられ、內鮮一體となれる半島の皇民が大東亞共榮圈の中核たる重大任務に、國民資質向上の道を得たことは、また國家が半島に要するところ如何に大なるかを知らしめるものでなければならぬ。

【五】

曾て、ゲーテは、スコツトの著せる『ナポレオン・ボナパルト傳』を讀了し、イギリスが歐羅巴の統一のためと口癖に云へることが全くの虛辭で、イギリスは徹頭徹尾自國の利益しか考へなかつたとの感想を洩らしたが、老獪狡智のアングロサクソンが、今次の大戰に如何なる美辭と好餌とで世界を舒らんとするやも知れぬ。印度を己れの盾として用ひんと策動し重慶の血を吸つてその抗戰力を利用してゐる。重慶の盟は愈よ牢固不拔、金石の契であるといへども間隙あらば間隙を狙ひ、甘言で欺り得るものを獲得せんとするは、米英常套の手段である。しかもボーア戰爭で内外の危機に直面し、第一次大戰の潜水艦戰に瀕死の一歩手前で死口を脫したイギリスである。危機寸前に迫るも顏色に示さず、最後まで戰を持續するであらう。この戰爭はテームスに遡りワシントンに攻め入る日まで繼續されるを覺悟せねばならぬ。國際政治秩序を更改する今次大戰は正に世紀の戰爭であつて、百年に一度ありやも知れない。今日この機を失つて、再び米英の勢力を驅逐し、その制御に悩かれた亞細亞に光明あらしむる日は再び來ないと思はれる。東亞の隆替と世界史の動向を決するこの聖戰に、半島は負荷された使命の重大なるを反省し、更に〳〵奮起しなければならぬ。

時の錄音

明年度一般會計歳出豫算總額九十九億九千五百萬圓に及ぶ。

×

ザツト百億、だがこれ悉く聖戰不可缺の戰時豫算だ。

×

更らに天文學的數字に驚くことはないのだ。

×

歳入、歳出共々十億の增加は當然のもの。

×

問題は要するにこの歳入豫算の實行にある。

×

貧しきものへ救ひの手、けふから救護法實施始まる。

×

寒さにふるへ、餓ゑに泣く人の身を救へ。

×

衣食足りて禮節を知る國民の恥を知るべし。

日向日々社長に松下元吉氏

【宮崎電話】日向日々新聞社社長安山正輝氏は今回辭任し後任社長には前朝日新聞西部本社業務部長松下元吉氏が就任した

消息

◇高原縫一氏(京城紡績社長)十四日出發豫定を變更し十二日『あかつき』で退城
◇中野正水氏(鮮銀北京駐在理事)入城中十一日『大陸』で北京へ
◇橋口秀雄氏(朝鮮織物協會專務理事)東上中の處十日歸任

鼻の惡い人は
―必ず頭が惡い―
◎手輕に治したい方へ 無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、鼻が乾く人、頭が常に重く鼻腔が痛える人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物覺え惡く物忘れの烈しい人、蓄膿症、肥厚性鼻炎等の鼻で御困りの方はドクトル新發明の最新の治療法を記した一冊を無代進呈致します。下さい。鼻病の治療にはどんな療法が一番よいか、鼻病の見分け方治し方、頭腦明快の新療法等が明細に書かれてあります。希望者は『京城日報』で見たと記入しハガキで京城府本町四丁目ミナト藥房京城營業所へ御申込下さい。(廣告)

總力擧げて九億貯蓄!
13日まで 實用呉服の市
12日より17日まで
天龍寺峨翁老師書展 於四階
清水六兵衛氏新作陶展 於三階
丁子屋

乳首のキズやタダレ
口中に入つても無害だから乳首につけても乳兒に害がなく、乳腺ホルモンやビタミンが主劑だからキズを治しながら常用すれば母乳の分泌も助ける理想的な補乳房藥です。
全國藥店に有ますが品切の節は本舖で直送します 希望者には試藥と「乳房の知識」進呈
定價 八十五錢 一圓四十錢 二圓六十錢 四圓八十錢
チクビパスタ
日赤產院院長山博士指導
東京・淺谷 有限會社 文化藥品研究所
京城總代理店 木村藥房

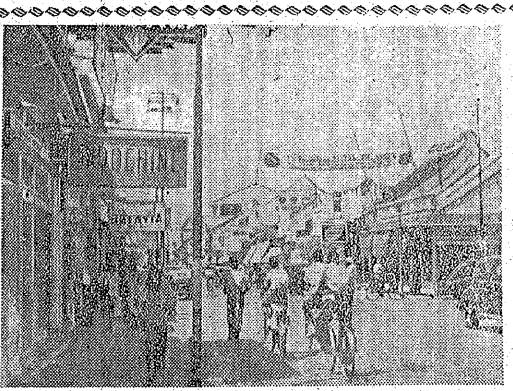
感冒 扁桃腺炎
テラポールの內服による殺菌作用はインフルエンザ菌にも極めて强烈にして殊に罹病の初期に於て殊に奏効迅速なり。從つて肺炎への進行を阻止し輕快せしむ。
大錠 二〇錠 一〇〇錠
第一製藥株式會社 東京日本橋 大阪道修町
錠 テラポール

一風變つた快通療法
胃腸病に
胃腸の强化は古便排除にあり
ヨーリを服むと二、三日前今迄にない眞黑の古便を排泄しこれが出切つて了ふと消化は良くなり、胃腸が日に見えて輕快に向ふ。
こんな人は早く
○便秘勝ちで焦々する人
○下痢するくせに便の出切らぬ人
○消化が惡く胸つかへの人
○ゲツプが多く、腹鳴りの人
○胃腸惡く痩せ衰へる人
試藥と說明書 無代進呈
頒價低廉 一圓五十錢、三圓、五圓
東京市小石川區西原町一ノ十五 むさし製藥本舖 (全國藥店にあり)
宿便を排泄し胃腸を丈夫に ヨーリ

パピリオ
クレーム三種、粉白粉十二色、ほゝ紅十二色、口紅八色

咳に 鎭咳袪痰劑
ペルマシン
中毒性なき咳止め
藥效は强く、而も小兒も安全
苦しい咳、發作を和らげ
痰を切り、呼吸を樂にする
殊に心臟保護の特長ある新劑
=主效=
かぜの咳、喘息
百日咳、氣管支炎
咽頭カタル、肺炎
肺結核の咳、咽喉
其他一般たんせき
三十錢 一圓 五十錢 二圓 各藥店にあり
大阪 京城 丹平商會
N.V-45

懷しの『ジャカルタ』 全ジャワ、歡喜に沸く



【ジャカルタ十日同盟】ジャワ軍政監部ではバタビヤの改名を八日の興亞祭を期しジャカルタと改稱九日この旨を全島に正式通達したこの吉報に接したバタビヤ六十五萬の市民はもちろん全島五千萬の原住民は歡喜に沸き立つてゐる、往年この土地はスンダ・クラパすなはち『椰子のスンダ』といはれ鬱蒼たる椰子に囲まれた森の都會であつたが、十六世紀ごろ西部ジャワに勢力を振つた回教バンタム王朝の一分家がこの土地のサルタンとなり、城塞を建て西暦一五二七年ジャヤカルタ（ジャワは勝利、カルタは城塞）と命名、椰子の都の幸福を願つたものである、ところが白人の侵略によつてバンタム王朝の根據地は墜ち、西暦一六一九年第四代蘭印總督ヤン・ピーターソン・クーンがイギリス勢力を驅逐してジャカルタにジャワ侵略の根據地を置くや同年五月三十日住民の改名反對の陳願を無視してバタビヤと改名したのである、バタビヤはバターフからとつたものでオランダの先住民の名前である、以來今日まで三百餘年その間原住民の反對運動は間斷なく續けられたが蘭印政府の壓政のもとに如何ともすることが出來なかつた、懷しいジャカルタの名前はインドネシヤ人にとつて心の故郷であつたが、陥落一周年に當り、再びこの土地が懷しい往年の名前に還つたことは新ジャワ建設の上に大きな意義をもつはもちろん全住民に深い感謝と感激を與へてゐる【寫眞＝改稱に新生の喜び湧くジャカルタ】

闇・買占めの絶滅へ 嚴罰主義を徹底 當局、近く全鮮に飛檄

野菜が品薄つたと思ふとたんにどこかへ消える、あるひは畑地へ行つて買占めを行ふ消費者連の暗躍などで大切な食糧が徐々偏在する傾向が見えはじめたので、高等法院では近く全鮮に亘つてある種の方策をとつて配給機構の是正を圖り、闇取引、買占めに對しては小さくとも嚴罰主義をとつて生活物資の配給円滑を圖り明朗な″戰ふ二年目″への銃後態勢を確立することとなつた、これによると、從來一般の取締りに對して積極的に檄を飛ばし、全鮮歩調をあはせて從來の″取締り過ぎると品物の出廻りが悪くなる″の消極論に大鐵槌を下すこととなつた、これについて十日高等法院經濟係兵藤檢事は語る【寫眞＝兵藤檢事】

野菜はじめ生活必需品、繊維製品などに出廻りが円滑を缺くことは銃後國民の一部に未だ闇取や買占が行はれてゐるからだ、勝ち拔くための二年目にこれではいけない、そこで近くこれに對して大きな″手″を打つことゝなつたが、これには消費者側が一ケ月位は物資が買へなくても我慢をするといふ強い精神的協力が必要だ、これを遂り遂げなければどうしても闇取引人や買占めの絶無は期せられない、どんな″手″が打たれるかいま公表は出來ないがいづれ長官にも申上げて年内には着手するはずである、私としても大きな決意を持つてゐるからその節闇取が發見された場合は如何なる小額でも容赦せず、また消費者側の買占めも今後は暴利行爲としてその品が自家消費であらうと何であらうと斷固處罰するから國民總力聯盟が銃後年末國民衆の決戰第二年への覺悟を促すため、さくこの意味をのみこんで買占めは絶對に行はぬやう、今から希望する

波田總長、戰力展へ

る三日から府內五百餘ケ所で開催した『戰力增強大展覧會』最終日の十一日、波田總聯事務總長は津田實踐部長を伴ひ午前十一時ごろひよつこり和信六階の同展『勤勞增強展』を訪れた、先づ戰爭と人的資源、戰爭と資材、勞務生産擴充戰爭と人口等の圖表に″ほうほう″と感心の聲を放ち熱心に見廻つて″この展覧會を見て痛切に感ずるとはこの際一段と全鮮愛國班の勤勞を切望しなければならないことだが、先づ農村の勤勞だがそれと一緒に都市消費者の消費的反省も要請せらるゝのだ″と語つて同十一時四十分ごろ辭去した

大和魂の筋金入り 新生のセレター軍港

【昭南十一日海軍報道班員發】わが海軍が世界に誇示したシンガポールのセレター軍港は二月十日わが海軍陸戰隊が上陸以來わが南方鎭護の基地となり敵の防禦施設は一轉わが方の『防禦要塞』に使用され孫子のいふ『敵の力を利して敵を破る』の概へを確立したが、その後海軍工作部隊、警備隊などの協力によつて內容を一變され、今では日本式大要塞として更生し同時に昭南港も着々兵站圏の中樞としての建設に邁進してゐる、占領當時のセレター軍港は隨所に嚴重な警戒網が幾段となく張り廻らされ機雷は所狭きまでに敷設され海面に燃え盛る重油の焰が破壞された敵の施設を地獄繪の如く映し出してゐたもので、今ではすつかり清掃されて大クレーンが林立し朗かな建設の響きを立てゝゐる、四萬トンの巨艦を收容するキング・ジョージ六世ドツクも排水ポンプの修理なるとゝもにすでに能力を發揮しはじめた、これもわが造艦の利器となつたのである、立派な工作部の大工場はこれら建設の中樞機關である、その近代的な機械工具はすべて日本式に改造されこゝに働く數千の工員は小數の日本人を中心として他は全部インドネシヤ人であり、印度人、支那人である、英國人の下で使はれた彼らの能率は皇軍入城以來適切なるよき指導によつて三倍以上の能率にまで高められた、軍隊式訓練に鍛へられた工員の足取りは輕く大東亞建設の理想に燃える姿は明るい、昭南港に出入する艦艇數は英國が東亞に勢力を振つてゐた時代の數を遙かに凌駕してをり、之をみても飛躍する昭南港昨今の様相は明かであらう

このセレター軍港のすぐ近くにこれら建設に日夜をつづけてゐる工員あるひは戰地から歸つて來た艦隊の將兵の疲れを癒す海軍溫泉療養所がある、これには四十度の硫黄溫泉が湧き溢れ兵隊さんは嬉しいさうな顔を陽氣にほてらせてゐる、また近くには海軍農園が二つあつて豐かな野菜、牛肉を供給して來る、トマト、白菜、瓜、豆は勿論マンゴー、ザボン、パインアップルなどの熱帶果樹が強い芳香を放つてゐる

これら要塞の施設を包容した軍港の大構內には今は一名の婦人も許可なく東亞人だけの固い敵艦の作業に晝夜分たず皇國の旗のもと完全に日本的に甦る

表彰狀等の傳達 けふ日赤支部で擧行

大東亞戰下に逞しい生成を遂げる日本赤十字社京城委員部主催の第七回總會御救護附花瓶、有功章、特別社員章、救護員感謝狀授與式は十一日午前十時から府民館大講堂で佐々木日赤朝鮮本部副總裁、古市京城府尹、千田總務部長、横田…氏ら臨場、日赤社員五百名出席の上擧行

國民儀禮についで閑院總裁宮殿下御寫眞開陳、古市分會長挨拶あり御救附花瓶拜受者大塚榮氏（御成町一七）外二名、有功章及川浩氏（旭町一ノ七二）他七十一名特別社員章、松田賢三氏（旭町一ノ二〇）他四百五十二名篤志表彰狀都築康二氏（南大門三ノ九四）他に對し古市會長より夫々手交傳達され何れも寫眞御開陳の儀あり式服に威儀を正した男女會員は感激もひとしほ深く同十一時半終了した【寫眞＝傳達式】

勝拔く映畫會開催

機械化國防協會朝鮮本部では來る十五、六兩日に國防訓練會を開催し無料で『戰爭とスポーツ』『勝利の基礎』『ニュース』などを上映し戰爭に勝ち拔くためには先づ國民の體位向上に役立たせようと一般の入場を望んでゐる

正月用に牛、豚肉 債券抱合せ多量特配

年末の特配について京城府内に正月用牛肉、豚肉の特配が行はれる、特配は京城府畜産組合購入の種豚によつて大體一回の配給量の五倍量が配給されることになつてをり、これに要する牛二百五十頭、豚一千頭が早くも準備されてゐる

配給に當つては特に今回は貯蓄獎勵の意味から債券を抱合せ牛肉には百匁から百五十匁まで一枚、百五十匁を越す毎に一枚づつを増し、豚肉にあつては百匁以上二百匁以內について一枚、二百匁を越す毎に一枚で配給されてある月二回の配給量には關係しない

なほこのほか學校、病院、工場などの非常利害關係に對しても一回の配給量の二割以內が配給されるが豚肉については今回の特配に限り百匁七十錢のものが、八十錢に値上げされる

警察寫眞電送 東京大阪に完成

【東京電話】內務省警保局では戰時下犯罪手配の徹底化、國際諜報防諜などの必要から東京、大阪、兩都間に寫眞電送の設備を急いでゐたがすでに機械の設備も完了、目下試驗中で明春二月には完成する豫定である、更に明年度中には愛知、福岡にも増設する

寫眞代最高價指定

京畿道では十一日附告示で寫眞代の最高價格を指定、來る十五日から實施することとなつた、新指定價格では小判台紙なし四枚一組につき二円、同焼増一枚三十五錢、中判型一組につき四円、同焼増一枚に六十錢、同引伸一枚一円五十錢となつてゐるなほ婚禮など出張撮影および閃光撮影寫眞は二割以內、急用寫眞は十割以內の割増金を加算し天然色寫眞の場合は實費を認める

回診は自轉車 女醫專生猛練習

寒風を截つて銀輪は彈む－京城女子醫專ではこんど自轉車五台を購入して毎日晝休み、放課後、課外の時間などに希望者に自轉車乗りの手ほどきを始めた、寒風もなんのその交通機關は自轉車以外にないところへ行つていざ急患だといふ時に備へ身を切る寒風をものともせず自轉車稽古に餘念のない興亞國策建設女隊の意氣は朗らかだ

故上野中尉凱旋

【釜山電話】北支戰線を轉戰、勇々たる武勲を重ね壯烈なる戰死を遂げた忠南扶餘郡恩山面出身故陸軍中尉上野勲氏の英靈は十一日朝母堂よしのさんに護られて釜山上陸同日午後三時十九分扶餘驛着凱旋した

乾燥卵の講習

生卵不足の折、子供たちへの榮養を氣遣ふ親心から緑旗聯盟婦人部では來る十五日午後一時から三時半まで初音町二〇〇の清和女塾で乾燥卵の調理講習會を開きお菓子やお惣菜の調理法を教授する

誰れにでも氣輕に參加できる 野村の投資信託
此の度第十一次の募集を開始致しました 大東亞戰一周年を迎へるとき、又今後との記念日を迎へるたびに、われわれは『野村の投資信託』の裏に逞しい成長を念じ、御明かく投資方法の新鮮さ、良さをしみじみ御體驗下さいますよう切にお奨め致します（解說書贈呈）
金額一口 ニッキ五百圓 申込 十二月十二日迄
黄金町二東拓別館 電本八三五一番 野村證券京城支店

ミヨシンのワイシャツ

けふの市況

株式 強調 東人續騰

前場 年度の豫算は正に百億円に垂んとする巨額に達し労々年末關係もあるので今日で商價視された人絹株に買氣集中、總じて頑調を辿つた、特に東京人絹は買込み過ぎの反動で前日より一圓五十六円方の續騰ぶりであり、短期新東百四円九十錢と四十錢高、朝新廿七円廿錢と變らず、新鐘七十七円五十錢と四十錢安、高周波五十三円五十錢と十錢高を示し存外堅りであつた

後場 (引弛む) 高値警戒人氣

實物一服り

その他三菱重工新、高周波等ら五十錢方引強み…新東、朝新それ〴〵四、ずに保合ひ前日の小高下を繰返した

採算株には値頃思ひ買物道はされ重工業、鍋船株、資源株など眺り足を示した、目先もな長期緩延な玉整理は續くものとみられるが、いま…訂正高が行はれるものと豫想される、主なる出來値左の如し

弘中三九、〇▲龍工新三三、〇▲朝鮮水力八八、六▲日立新七二、〇▲不二越新四八、六▲兵器新四九、〇▲日本鋼管新二九、三▲日本マグネ五一、〇▲川崎重工九〇、五

東京國債賣物 (單位錢)

甲號四分ノ五 廿三年物 九六、…／廿八年物 九六、…／佛貨四分ノ五 …

不二越鋼材据置

【東京電話】不二越鋼材では八日決算重役會を開き、當期利益金處分案(配當年九分据置)を査定、來る廿五日の定時總會に附議する

朝取短期 (十一日)

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
弘中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 一〇・三〇分

朝取算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期 (第一部)

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

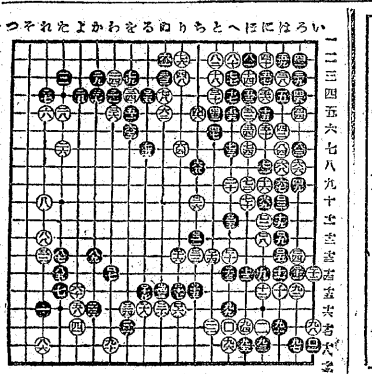
銘柄	前寄	引	高	安	後寄
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期・大株長期・東株短期第二部・東株短期鞘合・大株短期鞘合・取引所鞘合 [illegible]

現株仲値 (十一日十一時調)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
內地炭	[illegible]	北海炭	[illegible]	昭和飛行	[illegible]
日東紡	[illegible]	昭和鋼	[illegible]	同新	[illegible]
日清紡	[illegible]	石原產	[illegible]	大同鋼	[illegible]
日華紡	[illegible]	新潟鐵	[illegible]	小倉鋼	[illegible]
旭ベ	[illegible]	北海油	[illegible]	二ツケ	[illegible]
日本レ	[illegible]	日石新	[illegible]	昭和鋼	[illegible]
東京人	[illegible]	日化工	[illegible]	日立新	[illegible]
日通	[illegible]	日窒	[illegible]	日本鐵	[illegible]
日魯漁	[illegible]	電化	[illegible]	鐘淵實	[illegible]
重工業	[illegible]	日曹	[illegible]	新潟	[illegible]

碁 第十一回 對抗戰 (持時間各十時間)
五段 藤澤庫之助 (先番) 六段 篠原正美
小野田千代太郎(評解)



◇白ロ六のケイマは、右邊と左邊並に下邊左方の石との攻めを含んだ良着である。◇白ロ十八でロ二十にノビるのは、黒にロ十八とコスまれて得るところがない。◇白ロ二四までとなつて、黒九一以下の戰鬪一段落の形だが、此結果黒一二一の一子を自然に取込まれたのは大きい。つまり前回黒が右下隅に活きた張戰に疑義が感ぜられる所以である。◇黒は考慮時間を費やさずに簡單にロ二五と打込んだが、本當は此手は餘程自信が無いと打てない手だ。なぜならば白二六と打つことによつて無條件の持込みとなつてしまふかも知れないからである。果して此二五がどういふ働きを演ずるか興味が持たれる。

後三國志 (28)

(吉川英治作) (矢野橋村繪)

出師の卷 蜀また倣ふ (一)

孔明は恐縮して、病床を出、潔衣して、玄徳を迎へた。彼の病室へ入つて來るなり玄徳はあわてゝ云つた。

『横臥してをればよいに、無理をして病を重くしては、せつかく見舞に來たのが、却つて悪いことになる。軍師、遠慮せずに、横になつてをれ』

『勿體ないことです。君侯お自ら臣下の家へお越し給はるさへ恐懼にたへませんのに、みぐるしい病人の枕頭へ親しくお見舞ひくださるとは、何と申してよいかわかりません』

『すこし瘦せたなう。食事などうか』

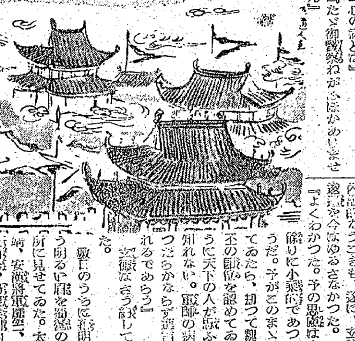
『餘りすゝみませぬ』

『いつたいどういふ病か』

『心の悩ひです。內臓に病はないつもりです』

『心の病とは』

『たゞ御賢察ねがふほかありません』



孔明は、目をふさいだ。そして玄徳がいくら訊ねても、內臓に病はないが、心の病はいまや臟腑を蝕くやうですとしか答へなかつた。

『軍師。先帝の進言を予が怠んだので、それが悩ひの因かやと申すのか』

『さればです。臣、草廬を出てよりはや十餘年、非才を以て君に仕へ、いま巴蜀を取つて漸く理想の一端は實現されたかの觀があります。しかしながら茲に萬代の基礎を創てて、更に、この漢業のこの劉きを、不朽ならしめんとするに當つて、如何なる時召しやら、あなた様には此期に至つて、世の俗議を懼れ、一身の名分にばかりこだはり、つひに天下の大義たるお志も無いやうであります。一世の紛亂と陋態を統べ鎮き、萬代に易る泰平の基を創つるは、天に選ばれた人のみがよく爲しとげることで志さへ立てれば誰でも爲し能ふものではありません。――不肖臣が廬を出てあなた様に仕へたのは全く其人こそあなた様を措いては他にないと信じたからでした。またあなた様におかれても當年の大志は明かに百世萬民のために燃えるやうな意氣を確にお持ちでした。……しかるに、蜀つひに劉璋叔ともあるお方も、老いては小成に安んじて、一國の無事のみが、たゞ希ふところになるものかと、あれこれ思ふものですから、臣の病も日々重くなるものとみえまする』

孔明のことばは激痛を極めた。また彼のことばには裏にも表にも微塵の私心利慾はなかつた。玄徳は面を伏せざるを得なかつた。

元來、彼は非常に名分を尊ぶ人である。世の毀譽褒貶を氣にする性であつた。それだけにこの問題については、當初から孔明の意見にも容易に從ふ色は見せなかつたが、周圍の事情態勢、また蜀中の內部的なうごきも、遂に、玄徳の逡巡を今はゆるさなかつた。

『よくわかつた。予の思慮はまだ餘りに小乘的であつたやうだ。予がこのまゝ默つてゐたら、却つて魏の曹丕の帝位を認めてゐるやうに天下の人が疑ふかも知れない。軍師の病が癒つたらかならず進言を容れるであらう』

玄徳はさう約して歸つた。

數日のうちに孔明はもう明るい顔を病後の政務所に見せてゐた。太傅許靖、安漢將軍糜竺、青衣侯向擧、陽泉侯劉豹、治中從事楊洪、昭文博士伊籍、學士尹默、その下の夥しい文武官は毎日のやうに會議して大典の典禮故實を調べたり、即位式の準備について、議をかさねてゐた。

建安二十六年の四月。成都は、皮都が開けて以來の盛事に賑はつた。大禮台は、武擔の南に築かれ、鸞駕は宮門を出、瀬地を埋むごとき百官と、雲のごとく續る文武官の萬歳を唱へる中に、玄徳は玉璽をうけ、ここに蜀の皇帝たる詔を天下に宣したのであつた。

同時に、(章武元年となす) といふ改元のことも布告され、また國號は、(大漢と號す) と、定められた。

大魏に大魏皇帝が立ち、大漢に大漢皇帝が立つたのである。天に二日なしと云ふ千古の鐵則はこゝにやぶれた、呉は、果して、これに對してどう云ふ動きを示すだらうか。

(虛弱体) 抗病体質の養成 ヤトコニン 大阪・東京・京城 鹽野義商店 SY-247

東亞證券 株式會社 朝鮮取引所一般取引員 京城府黄金町二丁目 電話本局代表五一六一
短期 現株 吉村取引店 京城黄金町二丁目 電話本局代表②8101

株式通し生産擴充 東新株の掉尾戰 白井株式店 京城府黄金町 電話本局二一一〇

△御手持株の登録と速報御希望の方へ 京城府黄金町二ノ一九九 二田原株式店現物部

日時 十二月十一日下見 十二日午後一時より賣立 清津府内某氏所藏品 書畫骨董大賣立 會場 京城府南山町二丁目 京城美術倶樂部 電本局(2)一三六〇番

陶器 在庫全鮮一 隨意設備 株式會社 三公商會陶器卸部 京城府元町二丁目 電話龍山三六八番

ニキビが取れて色白くなる

新強壯精力劑 オスエ 結核體質の改善に! ヨード含有劑 昆布の一五〇〇倍 ¥1.85 ¥4.80 ¥8.00 東京・アルス藥品部

君薄くなつたね! 久し振りに會つた友人に君薄くなつたねといはれるさ、さア大變、それからは頭の事が氣になつて仕方がない、自分ではまだく若いつもりで居つても、年齡の如何は問題でない毛の人が後生大事と丹念に夜店のステッキをやるお笑ひ歳ではありません、皆さん大切になさるがそれでいて調髪料については無關心な人が多い是非優良な品の選擇と手入を怠らぬ樣…… 丹頂チック

性病に 強力リベール錠 尿道炎・膀胱炎・淋疾の治療に 三共・武田・十三藥

咳に コフシロ 發賣元 柳韓洋行 京城・大連・天津・奉天・台北

健康化粧に… おしゃれの タンゴドーラン

白髪染 ナゴン

しつぷは三十分 デルモライツ 感冒 肺炎 扁桃腺炎 肋膜炎 中耳炎

キングレコード 12月新譜 やすらかに あめつちの 還らぬ一機 山本兵長の歌 あゝ特殊潜航艇 日本男兒こゝにあり 希望音樂會アルバム 南をさして 乘ッ切り甚句 ヒット盤 女の手の歌 乙女の誓ひ 感激の決戰譜 我等が奇襲に成功せり

子供の五疳虫くだし 樋屋奇應丸 東京孫太郎蟲總本部 ◎こんな人は是非御試し下さい 配給所 特約店設置 刈久保商事藥品部